



リベラルアーツを学び 世界と共に生きる  
新しいグローバルリーダーへ

# GLAP


Global Liberal Arts Program

グローバル・リベラルアーツ・プログラム

## 2024



立教大学



# 国や地域を超えて 人々と互いに協力し合い 世界のために行動を起こすことができる 新しいグローバルリーダーを

## 立教大学から世界へ

世界は、大きく変化しています。

グローバル化の進展に伴って、さまざまな文化や価値観が国境を越え、  
新たな対立さえ生み出し、未来も不透明になっています。

こうした時代にあって、これからの社会を生き抜く力を育成することは、大学の重要な役割です。

立教大学は、創立以来、キリスト教に基づく教育とリベラルアーツの理念を礎に、  
真の国際人を育成する教育を進めてきました。

そして、この理念をさらに進め、自ら考え、行動し、

世界と共に生きるグローバルリーダーの育成を目的とし

「Global Liberal Arts Program (GLAP)」は、2017年4月にスタートしました。

自由に学問を探究するリベラルアーツの精神は、

さまざまな課題に向き合う思考力や変革力、

さらに異なる価値観を持つ人々と共に生きる力を養います。

それは、混迷する現代、そして未来にこそ必要な学びです。

さあ、Global Liberal Arts Program で共に学び、世界をフィールドに活躍しましょう。

# Global Liberal Arts Program

立教大学グローバル・リベラルアーツ・プログラム(GLAP)は、21世紀のグローバル社会をリードする人材を育成するため、2017年に誕生した先進的なプログラムです。国や地域のボーダレス化が進み、複雑化する社会で生じる様々な課題を解決するためには、1つの狭い知にとらわれない自由な精神、そして世界であまねく用いられる英語を用いて多様な人々とともに生きていく覚悟、そして複眼的な視点で物事を判断する柔軟な態度が求められます。リベラルアーツとは、古くよりヨーロッパにおいて形成されてきた考え方で、世界を認識するために必要な学問を指します。これは、古くは自由七科(文法学・修辞学・論理学、そして算術・幾何学・天文学・音楽)を指すものでした。もちろん、われわれが今日の複雑化したこの世界を認識するためには、以上の科目で足りるものではなく、哲学、歴史学、社会学、経済学、経営学等、世界を認識するための諸学問を含め、現代的にこれを再構成する必要があります。また、この認識を深めるためには、「何」を学ぶかのみならず、「どう」これを学ぶのが大切になってきます。GLAPでは、少人数の授業の中で徹底的に討論し、自分の考え方を鍛え上げ、自らの言葉で発信することを重視しています。そのような再構成を行う中で、われわれが皆さんの力について考えていることは次のことです。どうすれば世界を認識する力を高めることができるか。どうすれば世界に意味を与えていく力を獲得



得できるか。そして、どうすれば世界に影響を与えていくことができるようになるかです。言うまでもなく、このような能力の獲得を目指す教育は、古くからのリベラルアーツ教育の伝統からいささかも逸脱するものではありません。そして、リベラルアーツ教育を以上のように考えた場合、グローバル — 英語を学び、そして英語で学ぶこと — の要素は、その欠くべからざる要素です。現代において普遍語としての性格を有する英語を用いて学ぶことにより、日本語によって学んだだけでは得られない世界が開かれ、その世界に働きかけていくことができると信じて、このプログラムは構成されています。皆さんが、このプログラムにおける学修を通じて身につけた力は、10年経っても、20年経っても陳腐化しない「本当の」力となるものと信じています。皆さんがGLAPで学び、自分の進むべき方向を見出し、この社会に立派に巣立っていくことを楽しみをしています。



グローバル・リベラルアーツ・プログラム(GLAP)  
運営センター  
センター長 松井 秀征



新しいグローバルリーダーの育成

## Global Liberal Arts Program (GLAP) の特長

### 英語で学ぶ | 世界を視野に、リベラルアーツを英語で学ぶ

Global Liberal Arts Programとは、入学時から4年間所属する、原則英語のみで学位の取得が可能なコースです。リベラルアーツは、自由に学問を探究し、視野を広げ、さまざまなものの考え方を理解する学びで、立教大学の教育の特長的なものです。Global Liberal Arts Programでは、リベラルアーツを英語で学び、日本にいながら常に「世界」を意識できる環境に身を置くことができます。特定の分野に特化した学修ではなく、複数の分野にわたって学ぶため、多様なものの見方・考え方を養うことができ、グローバル化が加速する社会において最も重要な、世界の人々と理解し合いながら協働する力を養うことにつながります。Global Liberal Arts Programでの学びや経験を通じて、英語によるコミュニケーション力、思考力、表現力など、実践的な英語力や卒業後に広く世界で活躍できる力を身につけることができます。

### 少人数教育 | 主体的に行動する意識が芽生える

Global Liberal Arts Programは1学年の人数が30名と教員との距離が非常に近く、学生一人一人がきめ細かな指導を受けることができる教育環境が整っています。1年次には最大5名という極めて少人数で導入教育の「Tutorial」を行います。学生が自ら積極的に学修に取り組めるよう、文献講読やエッセイ・ライティング、ディスカッション、プレゼンテーションなどのスキル、クリティカルシンキングやアカデミック・ライティングなど、論理的思考の基盤となる力を身につけます。また、グループワークとプロジェクト型学習を通じてリーダーシップスキルを育てる、立教大学独自のリーダーシップ教育により、学生同士が学び合うと同時に、一人一人が世界の課題に当事者意識を持ち、メンバーと協働して課題解決を図る力を身につけていきます。さまざまな考えを持つ学生や留学生と共に課題に取り組む中で、自分を高め続ける意識が芽生え、世界と共に生きるグローバルリーダーへと成長していきます。

### 少人数だから 一人一人が主役で輝ける GLAP

自主性を大切にしてくれるから  
ディスカッションの自由度が広がる

身近に感じて相談できる  
アカデミックアドバイザーがいるから  
モチベーションが上がる!

お互いの考えを尊重し合う  
フラットで和やかな雰囲気

様々なバックグラウンドだから  
ありのままの自分を受け入れてくれる

帰国後の仲間の成長にビックリ!  
仲間の成長に刺激をもらえる

少人数の魅力は?

Yu Kan Arisa Junya Nao



## 1年間の海外留学 | 海外でリベラルアーツの真髄を学ぶ貴重な経験

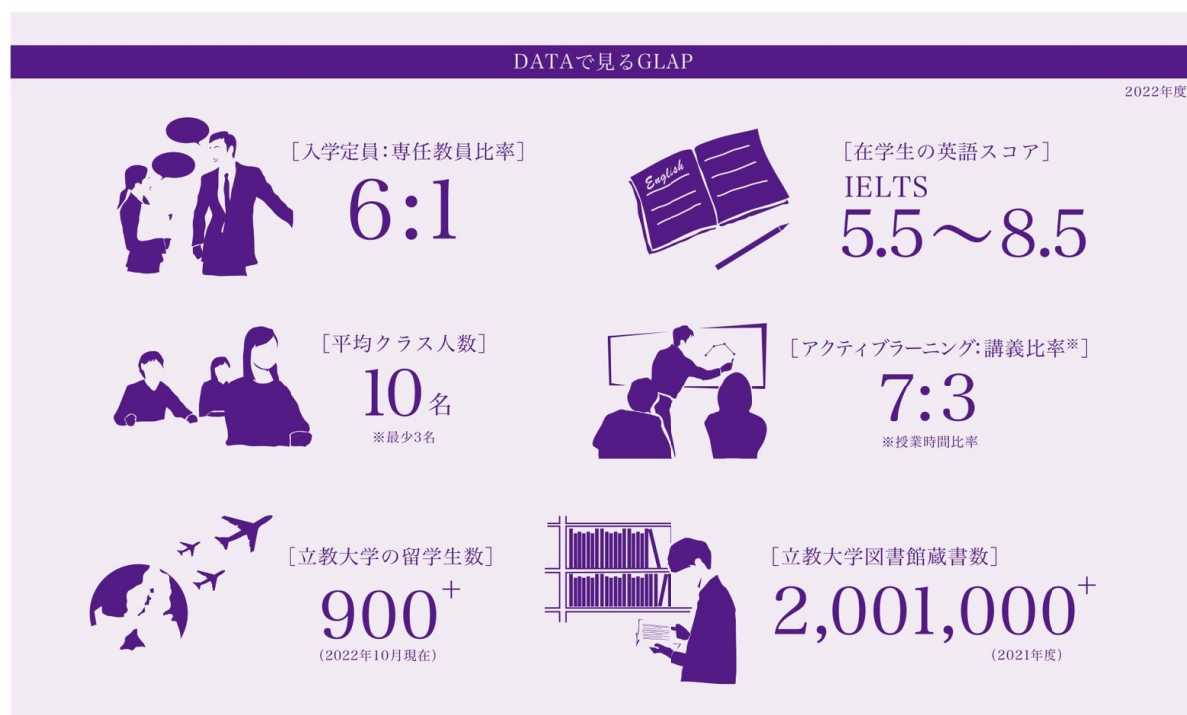
2年次秋学期から3年次春学期までの1年間、全員が海外の協定校に留学します。協定校はいずれも厳選したリベラルアーツ教育を重視している大学です。留学にあたっては、アカデミックアドバイザーと連携し、履修状況なども考慮して、留学先や履修科目を検討します。日本とは異なる環境で、多様な文化や習慣に触れ、他者と共に学ぶことは、自らの新しい可能性を発見すること、英語によるコミュニケーション能力を向上させること、そして国境を越えた幅広い人的ネットワークを形成することにもつながります。

## 帰国後の専門教育 | 視野を広げ経験を重ねた上で、より深く学ぶ分野を選択

留学からの帰国後、引き続き、複数の分野にわたる科目を履修しながら、より広い視野を身につけていきます。同時に、1年次からの学びや留学経験などを経て、自らが特に興味や関心を持った領域について、「Humanities」「Citizenship」「Business」の3分野から1つを選択し、より深く学びます。4年次には、4年間の学びの集大成として、「Final Year Seminar」を履修して卒業論文の執筆に取り組みます。

## 留学生との寮生活 | 寮生活を通して国際感覚を養う

留学先での寮生活を視野に入れ、国際交流寮で生活することができます。自立した生活を行い、留学への意思を高め、留学の目的を明確にしていきます。寮では留学生も一緒に生活するため、多様なバックボーンを持ち、国籍や文化、価値観の異なる人々と共同生活を行うという、貴重な経験を重ねていきます。寮で生活する時間が、国際性を育み、グローバルな感覚を磨いていく。それは、2年次秋学期からの留学をより有意義なものにする貴重な経験となります。



グローバルリーダーへと成長する4年間

# Global Liberal Arts Program (GLAP)

## カリキュラム

新しいグローバルリーダーへ

新しいグローバルリーダーとして活躍するために、入学から卒業まで、さまざまな学びや経験を積み重ねていきます。留学前に Humanities、Citizenship、Business 分野を中心に幅広く学び、帰国後は、上の3分野から1つを選択し、その分野を中心に学びを深め、卒業論文を執筆します。

### カリキュラム体系図

年次	学期	学修期	必修科目
4年次	8	③ 完成期 各自の興味や関心のある分野を専門的に学ぶ	
	7		
3年次	6	② 形成期 明確な目標をもって様々な学びから自己実現につながる知識を習得する	留学期
	5		
2年次	4		Study Abroad 1・2  最大5名で基礎的アカデミックスキルを学びます
	3		
1年次	2	① 導入期 思考力とその基盤となる知識を習得する	全学共通科目 言語系科目
	1		
			Tutorial 2 GL111
			Liberal Arts in Higher Education Tutorial 1

### 開講科目一覧

#### ■ 学びの精神

・Liberal Arts in Higher Education

#### ■ 演習系科目

・Tutorial 1(学びの技法)  
・Tutorial 2(学びの技法)  
・Second Year Seminar  
・Final Year Seminar 1  
・Final Year Seminar 2

#### ■ Graduation Paper

#### ■ GLP基礎科目

・GL111  
・GL202

#### ■ 海外留学研修

・Study Abroad 1  
・Study Abroad 2

#### ■ GLAP夏季短期集中プログラム科目

・University Education in the World  
・University in Modern Society  
・Career and University Education in the Global World

#### ■ 英語リベラルアーツ(ELA)科目

・World History  
・Culture and Fine Arts  
・Political Sociology  
・Nature of the Earth  
・Literature and Society  
・Economic Thought  
・Health and Wellness

#### ■ 全学共通科目言語系科目

・英語  
・初習言語\*

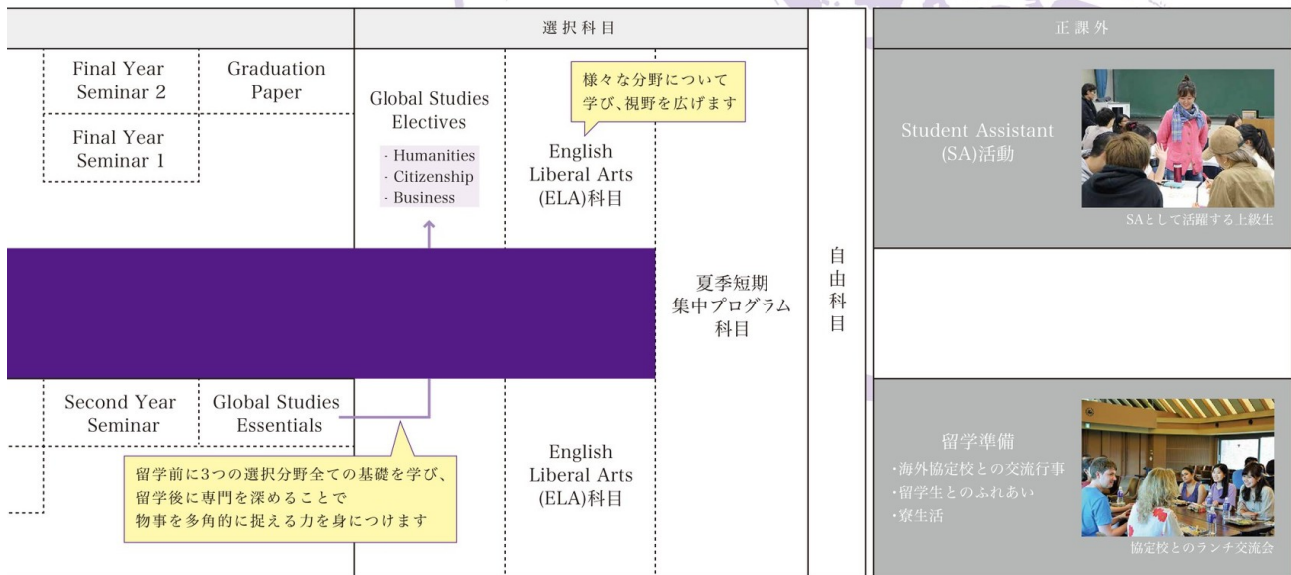
[以下の言語の中から1言語を選択]  
ドイツ語、フランス語、スペイン語、  
中国語、朝鮮語、ロシア語、日本語

\*初習言語は日本語を用いて学習します。  
ただし、日本語選択者は英語を用いて日本語を学習します。

#### ■ 自由科目

科目名は省略





### Global Studies

・ Global Studies Pre-Seminar ・ Cross-Fields Research

#### <Humanities>

- Global Studies Essentials
- ・ Globalism and Humanities
- Global Studies Electives
- ・ Humanities First Seminar
- ・ Christianity in Japan
- ・ Japanese Literature in the World
- ・ Japan in Asian Context
- ・ Rethinking European Literatures
- ・ Traditional Arts in Japan
- ・ Postmodern Turn in Japanese Arts
- ・ Development of Gender Studies
- ・ Intellectual History of Japan
- ・ Seminar in Literature and Culture Studies 1
- ・ Seminar in Literature and Culture Studies 2
- ・ Seminar in Literature and Culture Studies 3
- ・ Seminar in Literature and Culture Studies 4
- ・ Seminar in Literature and Culture Studies 5
- ・ Seminar in Literature and Culture Studies 6

#### <Citizenship>

- Global Studies Essentials
- ・ Citizenship Education
- Global Studies Electives
- ・ Citizenship First Seminar
- ・ Principles of Sociology
- ・ Global Sociology
- ・ Global City
- ・ Gender/Minority Studies
- ・ International Relations
- ・ UN and International Organizations
- ・ Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities
- ・ Area Studies – Africa, Islam and Asia
- ・ Sociological Studies A
- ・ Sociological Studies B
- ・ Sociological Studies C
- ・ Sociological Studies D
- ・ Sociology of Gender A
- ・ Cultural Anthropology A

#### <Business>

- Global Studies Essentials
- ・ International Business
- Global Studies Electives
- ・ Business First Seminar
- ・ Business and Society
- ・ Introduction to Finance
- ・ Introduction to Accounting
- ・ Introduction to Marketing
- ・ Corporate Finance and Valuation
- ・ Financial Statement Analysis
- ・ Marketing Research
- ・ Advanced Business Project
- ・ Business Communication
- ・ Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market
- ・ Intercultural Business Management
- ・ Global Innovation Management
- ・ International Human Resource Management
- ・ Global Strategic Management
- ・ Marketing Positioning Strategy

### 2023年度 開講科目担当教員

#### ■ 中込 さやか

Tutorial 1-2, Liberal Arts in Higher Education, Second Year Seminar, Study Abroad 1-2, Global Studies Pre-Seminar, Final Year Seminar 1-2

#### ■ 大橋 里見

Tutorial 1-2, Second Year Seminar, Study Abroad 1-2, Final Year Seminar 1-2, Global Studies Pre-Seminar, Culture and Fine Arts

#### ■ Keaveny, Christopher

Tutorial 1-2, Graduation Paper, Globalism and Humanities, Literature and Society, Humanities First Seminar, Intellectual History of Japan

#### ■ Mellet, Xavier

Tutorial 1-2, Graduation Paper, Political Sociology, Citizenship First Seminar, Principles of Sociology

#### ■ Abu-Dari, Mazen Musa Moh'd

Tutorial 1-2, Graduation Paper, Career and University Education in the Global World, Business First Seminar, Introduction to Marketing, Introduction to Finance, Marketing Research

■ Choi, Hee Young ■ Gorshkov, Victor ■ Hallman, Francis Candler ■ Hoolahan, Mark Francis ■ Kahy, Hady ■ Khangulyan, Dmitry ■ Knight, Kevin Robert ■ Lee, Minjoo ■ Marquez, Loren ■ Mignon, Edward Taylor ■ Nazzicone, Maria Joelle Rimas ■ Park, Chris Hyunkyoo ■ Reisel, Mary ■ Sayers, Brian ■ Schwemmer, Patrick Reinhart ■ 顧 俊堅 ■ 石川 リジラット ■ 三谷 純子 ■ 内藤 博之 ■ 新嶋 良恵 ■ 大本 綾 ■ 鈴木 弥香子 ■ 高松 麻里 ■ 田中 瑠子 ■ 寺田 悠紀 ■ 寺中 誠 ほか

少人数で磨く

## 授業

### Tutorial

Tutorial 1・2 は最大 5 名の極めて少人数のゼミ形式で行われる授業で、GLAP の学修の核といえるものです。授業は 1 年次の春学期と秋学期に週 1 コマずつ開講され、批判的リーディング、アカデミック・ライティング、プレゼンテーション、質疑応答などの学習によって、大学での学びの基礎力を総合的に高めるねらいがあります。

授業では、各学期に 2 冊の英語文献（人文・社会科学の分野などから選定）を読み進めていきます。学生は各授業前に指定された範囲の文献を講読し、報告担当者はそれに基づいたプレゼンテーションと要約を準備します。毎回の授業では、報告担当者のプレゼンテーションの後、教員と学生で内容確認とディスカッションを行います。そして、文献を読み終えるごとにリサーチ・クエスチョンにもとづく分析的エッセイを執筆します。

Tutorial 1・2 では、予習・復習にきちんと取り組み、積極的に授業参加を行うなど、学生自らが英語をツールとして用いた総合的学修を行うことを目指しています。担当教員からのサポートも手厚く、教員学生間の密なやりとりから刺激を受けることができます。慣れないうちは授業についていくことが大変な場合もありますが、学生にとって、やりがいのある授業となっています。



少人数での活発なディスカッション

### GL111(Global Leadership Program)

Global Leadership 111 (GL111) の授業は、一人ひとりが異なるリーダーシップを理解し、学生同士で実践を通して伸ばし合う授業です。授業には、GLAP の学生に加えて海外からの交換留学生や、他学部の学生が集まります。この多様性豊かな環境において、チームで目標に向かって働きかけるプロセスを実践することで、世界のどこでも、誰とでも、協働し、新たな価値を生むことにつながるリーダーシップを磨きます。

テーマは、現実の世界で企業や団体が実際に抱えている問題や課題の解決です。授業では、問題の解決に向けて、問題を取り巻く人々を洞察し、効果的な目標や戦略を考え、その実現のために、新たな施策を実践することに、少人数のチームで取り組みます。その際、「目標共有」、「率先垂範」、「同僚支援」というリーダーシップ最少三要素を意識しながらそれぞれが考えるリーダーシップ実践を重ね、目に見えにくいリーダーシップを体系的に磨くことができます。

また、初めて出会った人達とチームワークに取り組むため、成功も失敗もたくさん体験することができます。Global Leadership Program (GLP) では、その体験をチームメンバー全員で振り返り、チームのことだけでなく、お互いに率直にフィードバックを贈り合います。それは他者の視点も取り入れて、自分自身を振り返り、更なる理解を深め、新たな行動を考える機会となり、一人ひとり異なるリーダーシップを磨くことに繋がります。このような授業での取り組みは、学生生活はもちろん、社会に出てからも生きる大きな力となります。その達成のために、教員・学生アシスタント (SA) ・事務職員が一つのチームとなって、GL111 とその後に続く GLP を通して、みなさんのリーダーシップ開発に伴走し支援していきます。



グループごとの中間発表(ポスターセッション)



### 身近な相談役！ アカデミックアドバイザー

少人数教育を実践する GLAP では、アカデミックアドバイザーが、学生ひとりひとりに対して履修相談や中間面談などを毎学期実施し、きめ細やかなサポートを行っています。普段の学修面の相談、留学先の履修科目の相談など、入学直後から日常的に和やかな雰囲気の中で相談できるほか、留学中も毎月提出する課題レポートを通してアカデミックアドバイザーと密にコミュニケーションをとることができます。「大学生活の中で様々なことを相談できる身近な先生」それが GLAP のアカデミックアドバイザーです。3 年次の専門分野選択後は、それぞれの分野のサブのアカデミックアドバイザーにも専門的な学修について相談できます。



学生コメント

私にとって、アカデミックアドバイザーの先生はとても身近で頼りになる存在です。GLAP では、アドバイザーの先生に、学習面での悩みや不安を感じた時、すぐに相談できる環境が整っています。授業の選択、単位数、留学先について、悩んだり迷ったりした時に、何でも相談する事ができるのです。先生は実際に、私たちの授業を担当してくださる先生でもあるので、普段の授業の様子も踏まえながら的確なアドバイスをいただけます。私が科目の選択に迷った際の相談では、私の将来の夢や職業、学びたい事、興味のある分野などをもとに、先生が授業の選択方法や組み立て方を教えてくださいました。先生のアドバイスから選択した授業を履修し、多くのことを学ぶ事ができ、充実した学生生活を送ることができています。大学とは思えないほど、細やかで自分にあったサポートをもらえるのが、GLAP の強みだと思います。

太田 千陽 (2022 年入学)

※内容は取材時点のものです。



幅広い視野で専門を深める

# Global Studies

留学から帰国後、それまでの学修・留学をとおして特に興味や関心をもった分野を Global Studies の3分野、

Humanities、Citizenship、Business から1つ選択し、専門知識と考え方に対する学びを深めます。

3年次の分野選択後には、Global Studies の学びを深める重要科目として各分野で展開される「First Seminar」を履修します。

専門性とは何かを知り、専門分野で研究を進めるために必要な視点、理論、アプローチなどを学びます。

4年次には、自らテーマを設定し、Graduation Paper を1年かけて執筆し、発表します。

これは、選択した分野の専門知識や思考に加え、それまでに培った様々な分野の知識や多角的な視点を有機的に融合させた集大成となります。

## Citizenship

Citizenship 分野では、社会科学領域の専門的知識と市民的教養の両立を通して、グローバル市民として世界を舞台に活躍する人材を育てることを目標としています。グローバル化をもたらす様々な社会変動、葛藤や摩擦、そして今後の課題などに関する理解能力、批判的思考力、建設的行動力を身につけていきます。Citizenship 分野の様々な科目を通じて、社会学、法学、政治学、国際関係論、地域研究などの隣接している社会科学系の学問分野で蓄積された概念や理論を幅広く学びつつ、それぞれが設定した研究テーマやトピックについてどのようなアプローチで分析、議論していくかを探り、課題解決に向けて取り組みます。例えば、ジェンダー平等に関心がある場合、政策制度、メディア文化やジャーナリズム、フェミニズムやグローバルな社会運動論といった様々な観点から分析し、議論します。こうした複数の視点からのアプローチは、移住者と子ども、多文化共生、自然環境と生態系の持続可能性などについて考える際にも似たような形で用いることができます。国際機関、(国際または地域の) NGO、ジャーナリストやメディア企業への就職を希望している学生や大学院進学および研究者志望の学生たちが一緒に学んでいます。社会のしくみ、政治のあり方、グローバリゼーションと「国民国家」、個人とグローバル社会の関係および相互作用、メディアと文化などに興味のある方はぜひ、Citizenship 分野における課題を様々な視点から考えましょう。好奇心、探求心が高く、質問や討論でも積極的な学生を歓迎します。グローバルな市民として社会で活躍することを期待しています!

## Humanities

Humanities 分野の諸学問は、人間の経験の豊かな歴史を高く評価し、私たちが不確かな現在を生き抜いていくことを援け、よりよい未来を想像していく力を養ってくれます。また、Humanities 分野における研究は、いろいろな創造表現の鑑賞や分析に取り組むことによって創造表現の本質に迫るのです。伝統的に、Humanities に含まれる学問としては、宗教、哲学をはじめとして、文学、歴史、言語、コミュニケーション学、美術、演劇、音楽、映画学といった学問が挙げられます。

GLAP の Humanities 分野の課程の学びのなかで、学生たちは文学、芸術、哲学、そして宗教を比較の視点から見ること求められ、諸文化の違いと歴史の流れを超えて関係づけを行うように励まされるのです。

人間の表現と批判的分析に強く焦点をあてる Humanities は、多くの重要な点において、リベラルアーツの学びの経験の中心をしめる存在です。リベラルアーツ教育の諸原理に基づけられた GLAP は、Humanities の学問の中心としてまったくふさわしいものと言えるのです。

最後に、Humanities 分野は、グローバリズムを取り巻く諸問題や関心事を探究していくための理想的な学問的視座・視点を提供してくれます。創造的な方がた、そして、創造表現や人間の思想をグローバルな視点から探求することを真に希望する方がたをお待ちしています!



## Business

GLAP における Business 分野を学ぶことで、一般的な「経営学」に関する知識に加えて、経営戦略において重要な言語学的な能力や批判的思考力、異文化理解における知識など様々な力を身につけることができます。また、心理学や政治学など様々な知識を背景に、より適切な決断ができるようになります。例えば、ビジネスの現場におけるマーケティングの戦略は、企業のニーズの視点からのみではなく、消費者のニーズの視点からも戦略を立てることが重要なため、経営学の知識だけでなく、多様な背景を持つ消費者の視点をより理解することが、重要です。

また、世界を舞台に活躍していく上では、背景にある文化の違いや意思決定における様々な手段について配慮する必要があるため、グローバル・リベラルアーツの観点から Business 分野を学ぶことは有効かつ実践的です。異なる文化の背景をもつ相手に誤解を与えないよう、正確にメッセージを伝えることはとても大切だからです。このように、GLAP では、国内外を問わず様々な舞台で活躍できるように異文化理解を深め、多角的な視野や批判的思考力を身につけることができます。

最後に、大学入学前に自分の専門分野を決めることは、様々な選択肢があるにもかかわらず、何を専門としたいのか分からないまま選択してしまうことで、視野が狭まってしまう可能性があります。一方で異なる文化の人々とコミュニケーションをとる機会や国内でさえも異なる環境の人々とビジネスを行う機会は増えています。よって、GLAP では、リベラルアーツを通して学んだ幅広い知識と国際的な経験に基づいて専門分野を選択し、国際社会でより貢献できる人材を育成していきます。



世界にはばたく

# GLAP生のキャンパスライフ

## 幅広く濃密な学びのなかで 将来の目標が明確に

東京都  
順天高等学校出身  
2019年入学 布谷 優

### シャイな私にぴったりの少人数教育

幼い頃から英語を学び、海外旅行や短期留学も含めて常に英語に触れることのできる環境で育った私ですが、高校生の進路選択の時点では専門にしたい分野が定まっていませんでした。漠然と考えていたのは、幅広い学びによる基礎的な思考力を身につけてから専門分野を持ち、より複雑化する社会のなかで生き抜く力を磨きたいということ。その点で、まずは大局的な教養を学び、のちに専門性を深められる GLAP のカリキュラムは魅力的でした。また、シャイな私には1学年20名という少人数教育が合いそうだったことも GLAP に進学した大きな動機の一つです。実際に入ってみると雰囲気はフラットで和やか。どんな意見も先生が上手にフォローしてくれますし、グループワークで仲間同士の絆も深まるので心理的安全性が高く、リラックスして学べる場でした。

### 人生を変えた授業での“出会い”

GLAP の授業はどれもそれぞれに印象的でしたが、なかでも私の人生を変える“出会い”をくれたのが、2 年次春学期の「International Business」です。この授業を通じて社会の課題解決と利益拡大を同時に叶える「ソーシャルビジネス」という事業モデルを知り、ビジネスを専攻するという明確な目標ができました。この授業では最終的にチームで新たなビジネスモデルを提案しなくてはならなかったため、授業外でもメンバー同士で多くのディスカッションを重ねました。プレゼンテーション前の数週間はミーティングが連日 6 時間以上に及ぶことも。そんな密度の高い学びができるのも GLAP ならではではないでしょうか。普段は穏やかでもいざ授業のこととなると一人一人が妥協を許さず、最高のプレゼンテーションを目指そうと取り組むのです。だからこそ刺激を受けて自分ももっと頑張ろう!と思える。GLAP には、そんないい空気が満ちています。



授業でディスカッションをする様子 (左/1年次)

### 香港への留学で真の「グローバル」を体感

留学では本格的にビジネスを学ぼうとアジア随一のビジネスハブである香港へ。嶺南大学の留学中に感じたのは、香港では「グローバル」がより広域であることでした。欧米先進国や近隣諸国だけでなく全大陸を網羅した視野、公用語の一つに英語を有するゆえのオープンな雰囲気。同じ東アジアでも日本とはまったく異なる環境に真の意味での「グローバル」を体感し、人生で最も濃密な時間を過ごせたと思います。卒業後は大学院で、ソーシャルビジネス × Z 世代 × メディアの関係性を掘り下げ、「Z 世代を対象としたコンテンツマーケティング」をテーマとした研究を進める予定です。ビジネスという分野は政治や文化、環境などさまざまなファクターが影響しあうもの。GLAP の学びで培った多角的な視点は、今後、私が社会に出たうえで大いに活きるかと確信しています。



### 1日のスケジュール <1年次秋学期>

- 7:50 通学  
電車での移動中、当日のプレゼンテーションの最終チェックやイメージトレーニングをしながら大学へ向かいます。
- 8:50 1 限目 (Tutorial 2)  
“GLAP と言えば「Tutorial」”というほどシボリボリな授業。最大 5 名のゼミ形式で、半期で 2 冊の本を読んでいます。読解力やわかりやすく伝えるためのライティング力、プレゼンテーション力など、基礎的な力を養うことができました。
- 10:30 自習  
GLAP の課題をこなすには空き時間の使い方が中心。集中したいときは図書館、仲間の意見を聞きたいときは構内のラウンジ、眠いときはカフェでコーヒーを飲みながらなど、その時々で場所を変えて課題に励みます。
- 13:00 昼食  
学食を利用することもあれば、池袋駅周辺のお店で食べることも。その日の気分によってたくさんの選択肢から選べるのも、大学へ行く楽しみの一つになっています。
- 14:00 自習  
昼食でリフレッシュした後は、再び課題に取り組みます。グループワークのミーティングでは留学生も多く集まる構内の「グローバルラウンジ」に集まることも多く、ここが GLAP 生の溜まり場のようになっています。
- 15:20 4限目 (Culture and Fine Arts)  
「アート」という概念について学ぶだけでなく、最後には一人一人が自分のギャラリールームを作り、その魅力をプレゼンテーションするという実践的な取り組みを行いました。
- 17:00 アルバイト  
主に熟講師のアルバイトをしていました。課題がたても忙しい GLAP ですが、アルバイトやサークル活動の時間を確保する余裕があります。
- 22:00 帰宅  
家に向かう移動時間は授業のためのリーディングなどに当てています。また期日が迫っているときは帰宅後も課題を進めます。就寝前にはその週のスケジュールや To Do リストの確認もしています。

※内容は取材時点のものです。

## 切磋琢磨できる仲間と出会い 自信や自立心を養う

静岡県  
加藤学園 暁秀高等学校出身  
2019年入学 江里口 淳也

### 世界が身近になる環境やカリキュラム

高校時代は国際弁護士や外交官を目指し、国際バカロレアの資格を取得しました。そのなかで多角的な視点から物事を把握・分析し、自分なりの価値観・世界観を形作ることの大切さを実感。リベラルアーツ教育を行う GLAP であれば、高校からの学びをさらに深めていけそうだと感じて進学を決めました。実は海外の大学への進学も考えたのですが、それまで一度も留学や一人暮らしの経験がなかったのが勇気が出なかったのです。そんな私にとっては、日本でありながら海外にいるような環境や海外留学が必修となるカリキュラムも魅力的でした。

### 点と点が線になった授業、自立心が高まった留学

私の周囲では大学での学びが物足りないという話を聞くことがありましたが、GLAP での学びはそれとは真逆です。講義や課題は大変ですが、最初はあまり興味のなかったテーマの授業にもハッと気づかされることばかり。視野が広がるなかで、異なる要素に共通の問題点が浮かび上がるなど点と点が線になる瞬間を多く体感し、多分野を横断的に学ぶリベラルアーツの強みを再認識しました。学ぶうちに興味の対象が移っても受け入れてもらえる自由度の高さも魅力的です。また、アメリカへの留学も自分を見つめ直し、度胸や自立心を高める良い機会でした。授業以外でも国際寮で開催されるパーティやイベントに積極的に参加したり、他国の留学生仲間とハワイ旅行に行ったり。価値観のまったく違う人たちと英語のみで関係性を築く経験を通じ、今後、どんなコミュニティに入ったとしても前向きに楽しんでやっていけそうだという自信をつけることができました。

### 少人数教育だからこそその“失敗できる環境”

GLAP で何より印象的なのは 4 年間を共に過ごした仲間の存在です。一学年 20 名という少人数なので自然とその人柄を知ることができます。また、価値観もさまざまな人が集うため議論でぶつかっても後腐れなく、いい子ぶる必要がありません。お互いに意思をはっきり伝え、時に自分の間違いに気づかせてもらえる貴重な関係です。入学時はあまり英語の得意でなかった人が留学後にビジネスコンテストで入賞するなど仲間の成長を目の当たりにできたことも良い刺激になりました。

GLAP の強みは“誰もが失敗できる環境が整っている”ところにあるのではないのでしょうか。大人数のなかでは「誰かがやるだろう」と考えてしまうようなことでも、少人数制の GLAP なら自分で手を挙げようと思わせてくれます。失敗したとしても否定されませんし、先生からの手厚いサポートもあります。一部の優秀な人だけでなく、所属する一人一人にスポットがあたる学びの場。それが GLAP です。



### 時間割 (1年次秋学期)

※全学共通科目

	1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	5 限目
月		英語 ディスカッション2※	Health and Wellness		
火	上級英語2※	アフリカの 文化とことば※		中国語基礎2※	GL111
水	Tutorial 2	スポーツプログラム バドミントン※		Culture and Fine Arts	
木		上級英語2※	Culture and Fine Arts		
金			中国語基礎2※	聖書と人間※	

8月上旬(夏季短期集中科目) University in Modern Society

### GL111

個々人の「リーダーシップ」の開発を目標とし、5～6名の少人数チームでクライアントとなる企業や団体との共同開発プロジェクトに取り組んでいく授業です。まずは「リーダーシップ」という概念を理論的に学ぶとともに自己分析を実施。さらに、さまざまなメンバーと協働で新たな提案を作り上げ、最終的にはプレゼンテーションを行いました。当初、「リーダーシップ育成にどんな意味があるのか？」と少し懐疑的に捉えていたが、「トップに立つてみんなを導いていくリーダー」というような既存概念とは異なり、チームのなかでそれぞれの個性に沿って発揮する「リーダーシップ」という考え方を知り、自分らしいリーダーシップのあり方や強みを見出すことができたのは、とても良い経験になりました。また、最後のコンペティションでクライアント賞に選んでいただいたことも嬉しい思い出です。



GL111のポスターセッション

### University in Modern Society

カナダの協定校のレスブリッジ大学からこの授業のためにお越しいただいた先生から、*Not for Profit: Why Democracy Needs the Humanities* という本をテキストとし、大学教育が世界の政治とその変革にどのような役割を果たしてきたのかについて学びました。数日間だけの夏季の集中科目ですが、毎日テキストを読み込んで 1000 ワードを超えるフィードバックを書き、それを元に受講メンバーや先生と一緒に 5～6 時間に及ぶディスカッションをしました。メンバーが自分を含めて 3 名だったこともあり、とても凝縮された学びの時間でした。また、大学やそこでの教育がどのような歴史的・思想的背景を持って生まれたのか、そして哲学的にどのような意味を持っているのかを知ることによって、自分が GLAP で学ぶ意義をあらためて考える貴重な機会になりました。それまで哲学の授業を取ったことがなかったこともあり、自分にとっては非常に衝撃的だった授業です。

※内容は取材時点のものです。

# Global Liberal Arts Program (GLAP) 海外協定校

全員が、2 年次秋学期から 3 年次春学期の 1 年間、海外のリベラルアーツ大学などに留学し、異なる文化に触れ、国境を越えて活躍するために必要な能力を養います。留学にあたっては、卒業後の進路をふまえて 1 年次からアカデミックアドバイザーと履修相談を行い、留学先の検討・決定、また留学先での履修科目を検討していきます。



## D トリニティ・カレッジ Trinity College

米国東海岸のコネチカット州に所在する私立の名門リベラルアーツ校です。多彩な内容の専攻分野を学ぶことができる上に、複数の専攻領域にまたがる学際的なプログラムも開講されており、充実した教育内容で高い評価を受けています。



## A セントトーマス大学 St. Thomas University

カナダ東海岸のニューブランズウィック州に所在する公立リベラルアーツ校です。少数の学部教育を重視し、個々の学生が物事に批判的視野を持つことができるような授業が行われており、質の高い教育を提供しています。



## N ノーザンアリゾナ大学 / 留学体験記 末兼 希悠 (2019年入学) 留学期間: 2021年8月~2022年5月



留学生との食事の様子

私は、社会学や民族学、コミュニケーション学や英文学などを留学先で学びました。どの授業も私にとって、たくさんの新しい発見があり、考えを深めることができたと同時に各授業の内容について段々と繋がりを見つけていくことができ、「多角的視野を持つ」ということが自分の中で明確に体系化されていきました。中でもとても考えさせられた内容の一つは、約百年前にアメリカの社会学者デュ・ボイスによって定義付けられた double-consciousness (二重意識) という考えです。これは黒人の奴隷化がなされていた時に、黒人の人々が自分達の価値を白人の人々が自分達をどう見ているかで判断していたことを指す用語です。奴隷制度、という言葉を知ると、権力の強い者による非人道的で残酷な行為がイメージとして湧き上がりますが、ここではそういった行為に焦点を当ててではなく、抑圧されていた側の黒人の人々に注目し、彼らがどう自身を認識していたかといった内側に重きを置いています。これは私の中で今までにない新しい視点でした。この double-consciousness という、「他人の目を通して自分自身を見る」ことを SNS が普及した現代社会に当てはめて考えてみると、私自身を含め、誰もが一度は経験したことがあることなのではないかと思えます。授業で学んだことをその場で終わらせず、様々なことに関連付けながら深めていくことを意識したことも、先程述べた、それぞれの授業の繋がりを見つけられた理由の一つでもあるかと思えます。また、留学中は、大学の敷地内に住んでいたことで、思っていた以上に課題に割く時間、授業について考える時間、人と交流する時間が多くあり、大学のコミュニティが私生活のほぼ全てを占めていました。何にも邪魔されずに勉学に集中できるのは、あまり日本では経験できないことだと思うので、貴重な時間となりました。高校生のみならず、留学も受験もなりたいたい自分を実現するために行動することはとつてもかっこいいですし、自信に繋がります。しかし、その過程では、自分の思い通りにいかないことや人と比べてしまうこともあるかと思えます。そういう時は自分自身の持つ価値観を大切にしてください。途中で止まっても構いでもいいと思います。でも、最後には必ず前を向いて自分の歩幅で歩き始めてください。たくさんの良いことが待っていると思います。

※内容は取材時点のもので。

## アメリカ

- A バーモント大学
- B ナザレス大学
- C ニューヨーク州立大学ジェネセオ校
- D トリニティ・カレッジ
- E ライダー大学
- F モラヴィアン大学
- G ランドルフ・メーコン大学
- H プレズビテリアン大学
- I エモリー&ヘンリー大学
- J オーガスタナ大学
- K ミリケン大学
- L ダラス大学
- M トリニティ・ユニバーシティ
- N ノーザンアリゾナ大学
- O カリフォルニア大学サンタクルーズ校

※2年次秋学期からの1年間の海外留学研修は、申請時点のGLAP 海外協定校にのみ、留学できます。

## カナダ

- A セントトーマス大学
- B レスブリッジ大学

## ノルウェー

- A ヴォルダ・ユニバーシティ・カレッジ

## オランダ

- B ライデン・ユニバーシティ・カレッジ
- C ユニバーシティ・カレッジ・ユトレヒト

## ギリシャ

- D ギリシャ・アメリカン大学

## イタリア

- E ジョン・カボット大学

## チェコ

- F アングロ・アメリカン大学

## 中国

- A 嶺南大学 (香港)

※2023年4月時点の協定校です。  
※協定校は変更となる場合があります。  
※詳細はGLAPのHPよりご覧ください。



### NEW

大学の世界展開力強化事業「ACEプログラム」  
(2021年度文部科学省新規採択)

2022年度より、ソウル大学校自由専攻学部、北京大学元培学院、シンガポール国立大学ユニバーシティ・スカラズ・プログラムと本学が「リベラルアーツ教育」を共同テーマとした大学間国際コンソーシアム「The Asian Consortium for Excellence in Liberal Arts and Interdisciplinary Education (The ACE)」を形成しました。リベラルアーツ教育を基礎として、現代のアジアさらには国際社会の諸問題の解決について思考し、行動できる人材を育成していきます。

[ACEプログラム詳細]



### B ライデン・ユニバーシティ・カレッジ Leiden University College

立教大学の大学間協定校であるオランダのライデン大学が、2009年に創始した英語で授業が行われるオナーズ・カレッジです。地球規模の課題の解決に取り組む若い人材の育成を目的に、質の高い少人数教育を提供しています。



### ACEプログラム (柿原 亜紗子 2019年入学) ソウル大学・シンガポール国立大学渡航



ソウル大学での誕生日会(1番右)

ACEプログラムの第1期生として、2022年9月からの1セメスター目はソウル大学 (SNU) に、2023年1月からの2セメスター目はシンガポール国立大学 (NUS) に留学をしています。同じアジア圏ですが、両大学では異なる点が2つあります。1つ目は言語です。SNUでは英語で開講される科目が限られており、授業では現地の学生よりも私と同じ留学生と関わる機会が多かったです。

一方で、公用語として英語を掲げるシンガポールのNUSは受講者の中に現地学生の割合が高く、「シングリッシュ」という現地特有のアクセントの英語を使うので、慣れるために普段以上の集中力が必要でした。アジア圏の中でもシンガポールでは英語力が試され、刺激的な経験だと感じています。2つ目に、授業形式です。SNUでは授業時間内にレクチャーやプレゼンテーション、グループディスカッションなどを行いますが、NUSでは1つの科目においてレクチャーのコマとは別にTutorialというコマがあります。大講堂に埋まるくらいの受講者数であっても、Tutorialで最大20人ほどのクラスに分かれ、決まったメンバーでディスカッションやグループプロジェクトに取り組みます。このTutorialはGLAPの双方向の授業に似ています。また、NUSでは各授業において、教授のレクチャーに加え、毎回、教授もしくはTeaching Assistant (TA) がファシリテーションを通して授業内容をまとめてくださるので、より深く一つの科目について学べます。最後に多国籍国家のシンガポールでは、外国人との交流が日常的なため、「留学生」として特別扱われることが少ない一方、ソウルでは英語が母国語ではない人が周りに多く、現地の文化に触れたり、お互いの文化を共有したりする、いわゆる「留学生」らしい生活を送り、渡航国による違いも感じました。

## 〈 留学までの流れ 〉



各協定校で定められたTOEFL iBT® テストまたはIELTS™のスコア取得が学内選考までに必要です。選考にあたっては、学業成績や学習態度も重要視されます。留学は全員必須ですが英語外部試験スコアやGPA (Grade Point Average) が各協定校やGLAPが定める基準に達しなかった場合は、留学できない場合があります。

※社会情勢および感染状況に配慮して、留学を実施しています。

異文化交流を通して国際感覚を養う

# 寮生活

## 目的

- 留学生等との共同生活・異文化交流を通して、さまざまなことを学ぶ。
- 留学生生活をイメージし、留学への意識を高め、目標を明確にする。

入学時は、GLAP生の希望者全員が留学生と混住の立教グローバルハウスに入寮可能です<sup>※</sup>。寮生活を通して、自律心や国際感覚を養います。外国人留学生との交流が日常的に行われていて大学内だけでなく、寮の中でも異文化体験を通してさまざまなことを学ぶことができます。また、共同生活を行う中で授業で学んだリーダーシップを発揮できます。

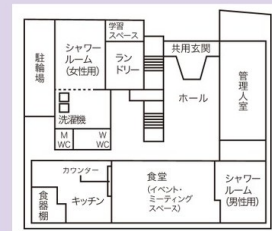
## 設備



明るく、広々とした、スペース。食事はもちろんグループワークや寮生・留学生との交流など日常生活を通してグローバルなコミュニケーション力が身につきます。

### [共用設備]

- 食堂 (イベント・ミーティングスペース)
  - 学習スペース
  - キッチン
  - トイレ・シャワー (男女別)
  - 洗濯機・乾燥機 (有料)
  - 駐輪場 (台数制限あり)
- ※エレベーターはありません。



※入寮生が自発的に企画を提案できます。

### 留学生との寮の交流イベント

- 各国の料理紹介
- 書道で書いた年賀状を家族に送ろう
- 豊洲、日本橋クルージングツアー
- クッキー作りワークショップ
- ハイキング

※帰国後の入寮は、Student Assistantの役割が求められるため、選考があります。

### [立教グローバルハウス 概要]

- 所在地 / 埼玉県新座市東北2丁目25-9
- アクセス / 東武東上線「志木」駅下車 徒歩約3分: 池袋キャンパスまで約30分
- 階数 / 6階建て (1階: 共用スペース、2階~6階: 居住フロア)
- フロア / 2階・6階: 男性フロア、4階・5階: 女性フロア、3階: 混住フロア
- 定員 / 約80名

### ■ セキュリティ

- ・館内入口オートロック
- ・各居室はシリンダーキー
- ・各階フロアに防犯カメラ完備
- ・管理人常駐 (巡回あり)

## 費用(予定) / その他

■ 寮費 / 54,000円 (月額) ※入寮希望者のみ

■ クリーニング代 / 25,000円 (入寮時のみ)

※寮費には光熱費・インターネット代金が含まれます。  
室内電気料は、100kw/月を超えた場合、別途、請求されます。

食事は提供されませんが、共用キッチンで自炊可能です。

希望者は、寝具リースを追加サービスとして申し込むことが可能です。

7,020円 (1ヵ月) または 26,460円 (12ヵ月)

### 寮生から



寮のある志木は池袋キャンパスへ電車1本で行くことができ、駅周辺に必要なものが全てそろっていてとても暮らしやすいです。入学時に友達ができるか不安でしたが、寮と一緒にいることもあり、すぐに友達ができ、とても嬉しかったです。寮に住んでいる留学生との交流も盛んで、母国に帰った留学生とも交流が続いています。寮で自立して留学生との共同生活を送る中で、文化的背景の異なる人と分かり合う大変さを学んだり、日々、自分に足りないところを見つめなおしたりすることができています。私にとって寮生活は、自分の中の当たり前前概念を壊し、新たな価値観を得る貴重な機会です。 本田ひかる (2018年入学)

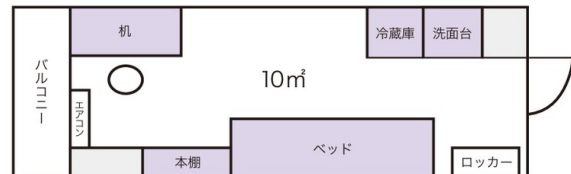
※内容は取材時点のものです。

## 居室

### [居室設備]

- 照明器具
- カーテン
- エアコン
- 机・椅子
- 本棚
- ロッカー
- ベッド
- 簡易洗面台
- ミニ冷蔵庫
- 無線LAN

※以上の設備は備え付けです。



※居室内にトイレ・シャワー・洗濯機はありません (共用)。



個室のイメージ



立教グローバルハウス外観

幅広い選択肢からキャリアを考える

## 進路選択

キャリアセンターのキャリア・就職支援に加え、GLAP 独自のキャリア科目を通して、国際機関やグローバルな企業の現場について学び、国内外へのキャリア形成について考えます。卒業後の進路は、国内外の大学院進学やグローバル企業、NPO・NGO など国際機関など多様です。

<b>就職先一例</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 楽天株式会社</li><li>● ヤマハ株式会社</li><li>● ダイソン株式会社</li><li>● その他、マーケティング、コンサルティング系企業など</li></ul>	<b>進学先の一例</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● スタンフォード大学大学院</li><li>● 東京大学公共政策大学院</li><li>● 大阪大学大学院国際公共政策研究科</li><li>● 早稲田大学大学院国際コミュニケーション研究科 など</li></ul>
--	---

### スタンフォード大学大学院 進学(予定)



GLAP のリベラルアーツ教育での経験は、美術史、政治社会学、国際ビジネスに至るまで、様々な学問分野がいかに何らかの形でつながっているかを教えてくれました。また、4年間のプログラムの中で、批判的に問題を分析し、議論を組み立て、伝えることを学びました。特に4~5人の少人数で構成されるTutorialは、多文化主義や日本の国際的な地位など、重要なテーマについて議論したり発表したりするスキルを磨く絶好の機会となりました。「Culture and Fine Arts」と「Japan in Asian Context」の授業を通して、文化とソフトパワーに自身の興味関心を見出し、文化交流や外交のアプローチを学ぶことによって、芸術がいかに政治的な意味を持ち、外国との関係に影響を与える力を持っているかに興味を持ったことが大学院進学を選択するきっかけとなりました。文化やソフトパワーをより学ぶために、机上で学ぶだけでなく立教メサイア演奏会やオペラサークルに参加し、実体験として楽しみながら文化を感じることも心掛けました。また、日本の文化的政策を論理的視点から研究することで、その実践について興味を持ったことから、立教大学を通じて文化庁と公益財団法人国際文化会館でのインターンシップに挑戦し、文化外交の第一線を肌で感じることができました。卒業論文では、授業やインターンシップで得た学問的な知識と実践的な知識を組み合わせて、日本の芸術家を文化大使として政府の補助金で海外に派遣するプログラムの進化について執筆しました。卒業後は大学院に進学し、文化外交のメディア、経済、歴史について、学際的な視点からさらに理解を深めたいと考えています。そして、GLAP で学んだことを活かして文化を通じた国際貢献に携われるよう更に文化外交に関する専門性を身につけていきたいと思っています。

杉田 采夏 (2023年卒業)

### マーケティングテクノロジー系企業



就職活動期間が留学と重なったため、私は3年次の5月から4年次の9月にかけて、人より少し長めに活動しました。日本からギリシャへの留学という環境が大きく変化した中、自分の将来像や就職活動の軸も少しずつ変わっていきました。初めは、10年以上海外で過ごした経験や言語能力を活かし、GLAPと同じように、多様性にあふれた国際的な環境で働きたいと考え、外資系企業で働くことを目標にサマーインターンシップに積極的に参加していましたが、インターンシップや留学を経てからは、自分は、本当は何

をしたいのか、どんな人に囲まれて働きたいのかを自問自答するようになりました。そして、その答えとなったのは、「ありのままの自分を受け入れてくれる、自分の成長を見守ってくれる環境」でした。GLAPでは一人一人の意見を大事にしているため、少人数でのプレゼンテーションやグループディスカッションを中心に授業が行われています。その中で、私は他人の意見を受け入れ、尊重しながら、自分の意見を述べることの大切さに気づきました。意見がぶつかる時もありましたが、少人数授業であるからこそ、お互いの個性や考えを深く理解することができ、そのような時でも話し合っ問題解決へ導くことができました。GLAPでの一番の学びは「双方向のコミュニケーションが成長の要」であることです。内定先企業のインターン選考コンペティションに参加した際に、このことを意識しながら、チームリーダーとしてディカッション力を発揮し、1日目では最下位だったチームを2日目には2位まで引き上げることができました。私の他人の長所を引き出す力が面接官の力に認められ、内定をいただくことができました。GLAPでは、様々な経験やバックグラウンドを持つ異なる分野でチャレンジし続けている学生と共に、刺激し合いながら成長することができます。学年関係なく、GLAPの学生たちはお互いのことを尊敬し、応援し合っ4年間を過ごしています。少人数であるからこそ、築くことができるこの絆をこれからも大切にしながら、社会人として一緒に成長していきたいです。

中島 佳恵 (2023年卒業)

## FAQ

- Q. Global Liberal Arts Programに入学するためには、どの入試を受験すればいいですか。**

A. 国際コース選抜入試に出席し、受験してください。一般入試および大学入学共通テスト利用入試では募集しません。
- Q. 海外留学は全員が参加するのですか。**

A. 原則として全員参加です。  
国内・海外双方でリベラルアーツを学ぶことをカリキュラムの軸に据えていますので、留学による学びと経験は、Global Liberal Arts Programを修了した学生として身につけるべき能力を養う上で必須と考えています。  
海外留学時にかかる費用は、渡航費・滞在費等です(150万円~300万円程度。先方都合やレート変動により、金額が変動する場合があります)。立教大学の学費を納めていれば、留学先学費は免除となり、別途学費はかかりません。
- Q. Global Liberal Arts Programで取得できる学位は何ですか。**

A. GLAPで所定の要件を満たした場合、「学士(学術)」の学位が授与されます。  
GLAPは授与する学位の専攻分野等に鑑み文学部文学科に位置づけられていますが、既存の学部学科とは別のカリキュラムを有し、立教大学全体のリソースを活用しながら運営していく学位プログラム・コースです。
- Q. Global Liberal Arts Programの学生は、教員免許や司書資格を取得することはできますか。**

A. 教員免許を取得することはできません。学芸員・図書館司書・社会教育主事の資格を取得することは可能です。  
※資格取得のために必要な科目の授業は、原則として日本語になります。

# 奨学金・学費等

## 奨学金

以下の奨学金制度は、GLAPの学生のための奨学金です。

### 立教大学GLAP奨学金 <入学前予約型>

修学支援を目的とする返還不要の入学前予約型奨学金です。国際コース選抜入試（GLAP）出願者のみが支給対象です。希望者は、入試への出願とは別に、奨学金申請が必要です。申請者の家計状況を審査し、困窮度の高い学生が採用されます。なお、国が実施する「高等教育の修学支援新制度」の採用者となった場合、併給制限（減額、支給停止等）があります。

給与年額	年間120万円
給与期間	原則4年間(継続審査あり)
採用候補者数	若干名

詳細や募集要項は右の大学HPでご確認ください。最新の情報は、2023年7月1日に公開予定です。



### 立教大学GLAP学業奨励奨学金、立教大学内藤昌尚奨学金

いずれも学業成績が優秀な学部2年次以上の学生を対象に、学業の奨励を目的として支給する奨学金です（給与奨学金）。両奨学金を同時に募集・選考し、GLAP学業奨励奨学金については、各学年2名に年額20万円を、内藤昌尚奨学金については、最も優秀な学生1名に年額50万円を支給します。

### その他の奨学金制度(全学部生向け)

他にも留学や学生生活を支援することを目的とした奨学金や修学支援の奨学金制度があります。本学独自の奨学金は給与奨学金であり、返還不要です。本学の奨学金制度の一部をご紹介します。

詳細は右の大学HPでご確認ください。



	奨学金名	給与金額	採用人数(予定)	対象
留学支援	立教大学グローバル奨学金	年額10万円～60万円	支給基準を満たした方全員	本学が実施する海外留学プログラムへの参加者で経済支援が必要な学生 ※GLAPのカリキュラムに組み込まれている2年次秋学期から1年間の留学は、家計審査により20万円または40万円または60万円を支給。 ※家計基準を超える場合は支給されません。
	立教大学校友会成績優秀者留学支援奨学金	年額20万円	50名	本学が実施する海外留学プログラムへの参加者で特に成績が優秀な学部2年次生以上
(奨学目的)	立教大学学部給与奨学金	年額80万円	70名程度	経済支援が必要な学部学生
	立教大学大柴利信記念奨学金	年額50万円	6名	経済支援が必要な学部学生(関東地方以外の出身者)

上表は2023年度の予定です。\*立教大学GLAP奨学金の受給者は、上記の修学支援の奨学金は受給できません。

## 学費等(予定)

- 学費：185万円 / 年
- 入学金：20万円 / (初年度のみ)
- 留学費用：留学先学費免除 ※現地での寮費、渡航費は別途(150万円～300万円程度。先方都合やレート変動により、金額が変動する場合があります)。
- 寮費：54,000円 / 月 (入寮希望者のみ)

## OPEN CAMPUS

オープンキャンパス

8.4 (金) 10:00～17:00 池袋キャンパス

事前予約制

2023年度 オープンキャンパスのご案内



今年は対面実施を予定!!



2019年度開催の様子



# Global Liberal Arts Program (GLAP) の入試

[入試要項]



## 2024年 4月入学 募集概要

※日程の詳細はWebサイトをご確認ください。

国際コース選抜入試 (GLAP) 募集人員: 12名程度	
Web出願期間	2023年9月中旬
第1次選考 (書類選考) 合格者発表	10月下旬
第2次選考 (筆記試験・面接試験)	11月中旬
合格者発表	12月初旬*
第1次入学手続期間	12月上旬
第2次入学手続期間	2024年1月下旬～2月上旬

\* 入学手続状況により、第2回合格者発表を行う場合があります。詳細はWebサイトの入試要項にてご確認ください。

## 出願資格

次の1～3の条件をすべて満たす者。

1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。

- 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者。
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者。
- 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

2. グローバル・リベラルアーツ・プログラムでの勉学に強い意欲を持つ者。

3. 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。

▶利用できる英語資格・検定試験の詳細は、出願に先立ち、必ずWebサイトの入試要項にてご確認ください。

- ケンブリッジ英語検定スコア160点以上
- 実用英語技能検定[英検] 2,600点以上
- GTECスコア1,180点以上
- IELTS(Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア5.5以上
- TEAPスコア309点以上
- TEAP CBTスコア600点以上
- TOEFL iBTスコア72点以上

※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。

【グローバル・リベラルアーツ・プログラム:出願条件1(c)の詳細内容について】

- 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの。
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者。
- 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者。
- 文部科学大臣の指定した者。
- 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2024年3月31日までに合格見込みの者。
- 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。
- その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2024年3月31日までに満18歳に達するもの。

※「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願に先立ち、「出願資格審査」を受ける必要があります。

## 選考方法

第1次選考

出願書類をもとに書類選考

第2次選考

- 小論文: 英語による小論文を実施します。与えられた英文を読み、そのテーマについて書かれた小論文から、読解力・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。
- 面接試験

【出願書類】入学志願票/志望理由書/調査書\*/証明書類

\* 高等学校卒業者は、出身学校長が証明し厳封されたもの。高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。

指定校推薦による入学制度があります。なお、一般入試および大学入学共通テスト利用入試でのGLAPの募集は行いません。



# 立教大学

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

- 入学センター(入試に関するお問合わせ先) 03-3985-2660
- グローバル・リベラルアーツ・プログラム 運営センター事務局 03-3985-4612

[立教大学 Webサイト] [GLAP Webサイト]



※取材・製作等に際しては、感染症の拡大防止に努め、十分な配慮を行っています。



Reach beyond national and regional borders.

Work with others from  
diverse backgrounds.

Take initiatives to solve global challenges.

Become a global leader at  
Rikkyo University.

Today's world is changing dramatically.

The progress of globalization has enabled values to transcend national borders, generating new forms of conflict, and leading to uncertainty over what lies ahead.

Given such circumstances, it is crucial for universities to foster people with the ability to thrive in this changing world.

Since its foundation, Rikkyo University has pursued higher education to cultivate true global citizens, based upon the educational principles of liberal arts and Christian values.

As Rikkyo University seeks to advance its educational principles further, the Global Liberal Arts Program (GLAP) was introduced in April 2017 to educate future global leaders who can think and act spontaneously, as well as live in harmony with the people of the world.

The liberal arts spirit of free academic inquiry nurtures students' capabilities to conceptualize new ideas, and to transform society in order to tackle a wide variety of challenges. It also nurtures students' empathy to live together with the people holding diverse values and worldviews.

What GLAP offers is precisely the kind of education that is needed in the turbulent contemporary society and into the future.

Join us in the Global Liberal Arts Program to learn together and succeed on the world stage.

# Global Liberal Arts Program

Founded in 2017, Rikkyo University's Global Liberal Arts Program (GLAP) is an advanced program designed to train people who will take the lead in the global society of the 21st century.

As borders between countries and regions increasingly blur, in order to solve the various issues that an increasingly complex society presents, we need a free spirit that is not bound by a single, narrow knowledge; the preparedness to live among diverse people using of the English language as a global lingua franca, and the flexible attitude that judges issues based on multi-faceted perspectives.

"Liberal arts" is an idea that formed in Europe centuries ago, and refers to the academic studies necessary to understand our world. The liberal arts are traditionally the seven areas of grammar, rhetoric, and logic (the trivium), and arithmetic, geometry, astronomy, and music (the quadrivium).

Naturally, to understand the complex world of today, these seven liberal arts are no longer enough: we need to redefine the field to include areas like philosophy, history, sociology, economics, and management studies.

In addition, to deepen understanding, it is important to study not just the "what," but the "how".

In GLAP, students will carry out far-ranging debates with small class sizes, honing their own ideas with an emphasis on being able to put things into their own words.

As we engage in this work of reconstruction, we think about your abilities. That is to say, how can you develop your understanding of the world? How can you acquire the ability to give meaning to the

world? And how can you learn to make a difference to the world?

It's quite obvious that an education designed to foster these abilities of students does not in any way depart from the liberal arts tradition of antiquity.

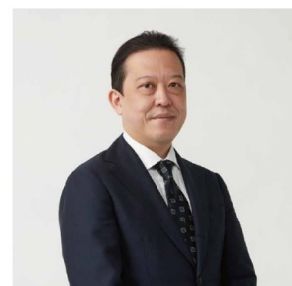
When we think of liberal arts education in this way, the global dimension – learning English and learning IN English – is indispensable.

Today English is a universal language, and using English as the medium of learning opens the door to a world that is not accessible when the only medium of learning is Japanese.

The Global Liberal Arts Program was created to empower you to have an impact on this world.

We are confident that the skills students will gain from this program are genuine ones that will remain useful ten, twenty years from now.

As you pursue your studies in GLAP, we look forward to your discovering your own path to follow and entering society one day as excellent graduates.



Director,  
Center for Global Liberal Arts Program  
Matsui, Hideyuki



Nurturing Future Global Leaders

# Highlights of the Global Liberal Arts Program (GLAP)

English Medium Education

## Studying Liberal Arts in English with Global Focus

GLAP has been designed as a four-year undergraduate program in which the students may earn a bachelor's degree taught entirely in English. Liberal arts education is a part of Rikkyo University's distinctive educational strength, which encourages students to pursue their own academic interest, expand academic horizons, and better understand a variety of theories and philosophies. GLAP allows students to put themselves in the environments where they may experience the world, while physically staying in Japan and studying liberal arts in English. As the students learn multiple academic subjects via interdisciplinary approaches, without being confined to any particular major field, they learn to understand diverse and multi-faceted perspectives of global issues. These may be deemed as the most critical skills in today's society, and will lead student to develop the ability to work with people from all over the world, and better understand each other. As they go through a variety of learning experiences through GLAP, they gain English proficiency as well as communication skills, logical thinking capacity, and the critical thinking ability all of which are highly needed for students to be competitive in global settings after graduation.

Small Class Education

## Nurturing a Sense of Spontaneity

As the admission into GLAP is highly selective and limited to only thirty students per year, the program offer an ideal educational environment where students can be in very close contact with their instructors to receive personalized guidance. During the first year, a small-group class "Tutorial" is offered with a maximum size of five students. Each student acquires basic competencies for logical and critical thinking, through a variety of activities such as text reading, essay writing, discussion, and presentation. In addition, students also learn from one another through Rikkyo University's unique leadership education program that fosters leadership skills through group work and project-based learning. At the same time, they develop the ability for problem-solving by working with other group members, which encourages each student to develop a strong interest in taking initiative for solving global issues. Through working on their assignments with their cohort and international students, every student becomes motivated to continue their self-improvement, and grow to be global leaders who can live along side others with diverse backgrounds.

**Small Class Education** will let each one of you shine at **GLAP**

GLAP values independence  
Allows discussion.

Academic Advisors are always there to support us  
They get me motivated!

Yu  
Kan  
Arisa  
Junya  
Nao

What makes small class education so special?

Respect each other's ideas  
Frank and friendly environment.

Amazed at the growth of classmates returning from Study Abroad!  
Classmates inspire each other.

Diverse backgrounds  
Accept you as you are.



Year Abroad

## A Meaningful Opportunity to Experience the Essence of Liberal Arts Education Overseas

All GLAP students are required to study abroad, for one academic year, at a partner institution, beginning from the fall semester of their second year to the spring semester of their third year. GLAP's partner institutions are carefully selected for this program because of their strong focus on liberal arts education. Under the support and guidance of their Academic Advisors, who monitor the students' academic progress, students decide on where to study and which courses to take at their host institution. Through encounters with diverse cultures and customs, as well as learning experiences in a foreign environment out of Japan, students discover their potential, enhance their ability to communicate in English, and build a wide range of networks with people from all over the world.

Specialization Track

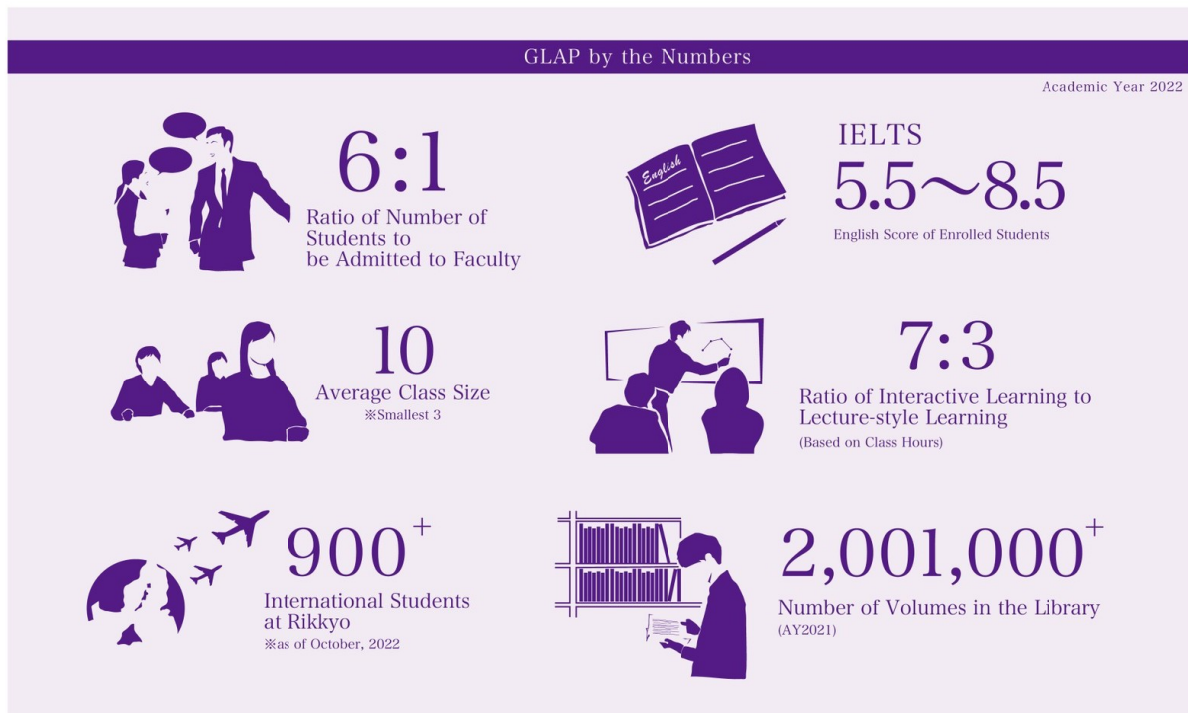
## Enhancing Student Knowledge with a Specialized Perspective

When students return from their study abroad experience, GLAP students continue to broaden their perspective by taking courses from multiple academic disciplines. In addition, after students complete the general education phase and study abroad experience, they select one area of specialization: "Humanities", "Citizenship", or "Business". In each area, students engage in specialized studies to deepen their understanding. In the final year, as the capstone project of the four-year undergraduate program, students are required to take "Final Year Seminar" class and complete the Graduation Paper.

Living with International Students

## Enhancing Global Awareness through Dormitory Life

GLAP students are given the option of living in an international dormitory so that they may prepare for living in campus accommodation while they study abroad. Living independently in the dormitory helps students to motivate themselves to study abroad and clarify the objective of their studies. Students have a meaningful experience of spending campus life with others from diverse backgrounds, many of whom have different nationalities, cultures, and worldviews. Life in the dormitory helps the students to develop their international mindset and enhance their global awareness. This is a valuable experience for students to enrich their study abroad experience, which starts in the fall semester of their second year.



# Overview of the Global Liberal Arts Program (GLAP) Curriculum

## Towards a New Type of Global Leader

GLAP students accumulate a wide variety of learning experiences in order to become a new type of global leader. Before studying abroad, GLAP students learn a wide range of fields, mainly Humanities, Citizenship, and Business. After students return from their study abroad experience, they select one from the above three fields and engage in specialized studies to deepen their understanding and complete the Graduation Paper.

### Overview of Curriculum(Admission in April)

Year	Semester	Phase		Compulsory Subjects		
4 <sup>th</sup>	8	③ Completion Phase Select one area of specialization and learn specific academic subjects.				
	7					
3 <sup>rd</sup>	6	② Development Phase Obtain knowledge to lead to self-fulfillment from a variety of learning opportunities with specific goals.		Study Abroad 1-2		
	5					
2 <sup>nd</sup>	4	Study Abroad Phase		Learn basic academic skills with a maximum of five students.		
	3					
1 <sup>st</sup>	2	① Introduction Phase Acquire basic knowledge to acquire the ability for critical thinking.	University-wide Liberal Arts Subjects Language Courses		Tutorial 2	GL111
	1				Liberal Arts in Higher Education	Tutorial 1

## Course Listings

### ■ Introduction to Academic Studies

- Liberal Arts in Higher Education

### ■ Seminar Subjects

- Tutorial 1(Academic Learning Methods)
- Tutorial 2(Academic Learning Methods)
- Second Year Seminar
- Final Year Seminar 1
- Final Year Seminar 2

### ■ Graduation Paper

### ■ GLP Basic Subjects

- GL111
- GL202

### ■ Study Abroad

- Study Abroad 1
- Study Abroad 2

### ■ GLAP Summer Intensive Programs

- University Education in the World
- University in Modern Society
- Career and University Education in the Global World

### ■ English Liberal Arts (ELA)Subjects

- World History
- Culture and Fine Arts
- Political Sociology
- Nature of the Earth
- Literature and Society
- Economic Thought
- Health and Wellness

### ■ University-wide Liberal Arts Subjects Language Courses

- English
- Language not previously studied\*

[Select one language from below]

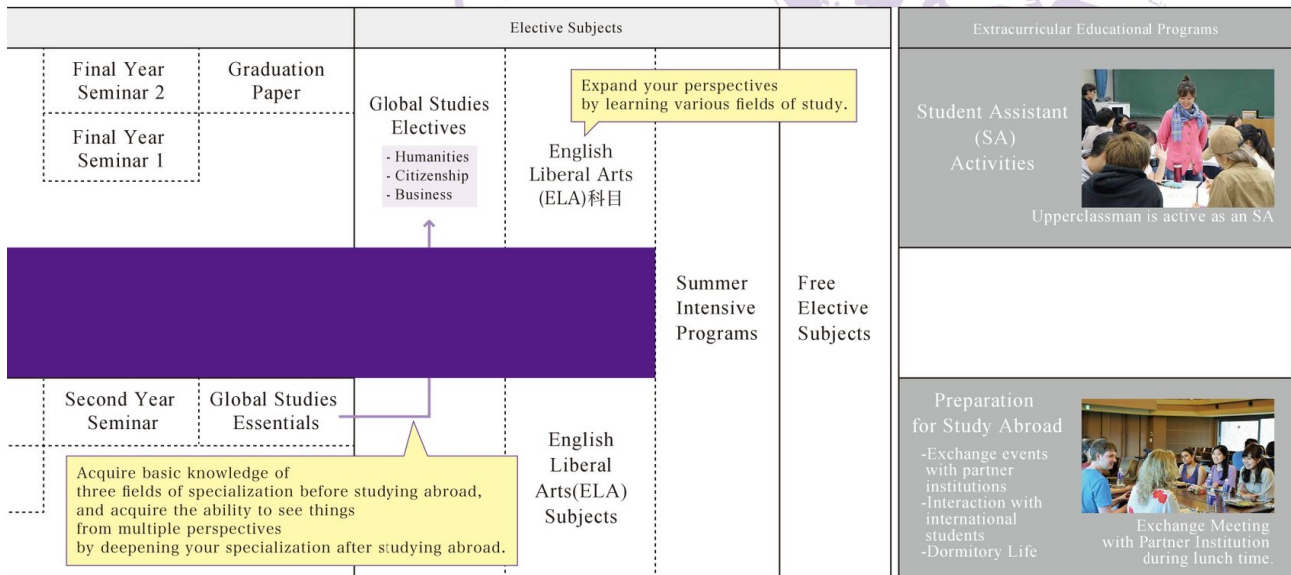
German, French, Spanish, Chinese, Korean, Russian and Japanese

\*In those classes the instruction is given in Japanese, while non-Japanese-speaking students can study Japanese in English as a foreign language subject.

### ■ Free Elective Subjects

course titles omitted





## ■ Global Studies

• Global Studies Pre-Seminar • Cross-Fields Research

### <Humanities>

- Global Studies Essentials
- Globalism and Humanities
- Global Studies Electives
- Humanities First Seminar
- Christianity in Japan
- Japanese Literature in the World
- Japan in Asian Context
- Rethinking European Literatures
- Traditional Arts in Japan
- Postmodern Turn in Japanese Arts
- Development of Gender Studies
- Intellectual History of Japan
- Seminar in Literature and Culture Studies 1
- Seminar in Literature and Culture Studies 2
- Seminar in Literature and Culture Studies 3
- Seminar in Literature and Culture Studies 4
- Seminar in Literature and Culture Studies 5
- Seminar in Literature and Culture Studies 6

### <Citizenship>

- Global Studies Essentials
- Citizenship Education
- Global Studies Electives
- Citizenship First Seminar
- Principles of Sociology
- Global Sociology
- Global City
- Gender/Minority Studies
- International Relations
- UN and International Organizations
- Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities
- Area Studies – Africa, Islam and Asia
- Sociological Studies A
- Sociological Studies B
- Sociological Studies C
- Sociological Studies D
- Sociology of Gender A
- Cultural Anthropology A

### <Business>

- Global Studies Essentials
- International Business
- Global Studies Electives
- Business First Seminar
- Business and Society
- Introduction to Finance
- Introduction to Accounting
- Introduction to Marketing
- Corporate Finance and Valuation
- Financial Statement Analysis
- Marketing Research
- Advanced Business Project
- Business Communication
- Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market
- Intercultural Business Management
- Global Innovation Management
- International Human Resource Management
- Global Strategic Management
- Marketing Positioning Strategy

## Instructors 2023

### ■ Nakagomi, Sayaka

Tutorial 1-2,  
Liberal Arts in Higher Education,  
Second Year Seminar,  
Study Abroad 1-2,  
Global Studies Pre-Seminar,  
Final Year Seminar 1-2

### ■ Ohashi, Satomi

Tutorial 1-2,  
Second Year Seminar,  
Study Abroad 1-2,  
Final Year Seminar 1-2,  
Global Studies Pre-Seminar,  
Culture and Fine Arts

### ■ Keaveny, Christopher

Tutorial 1-2, Graduation Paper,  
Globalism and Humanities,  
Literature and Society,  
Humanities First Seminar,  
Intellectual History of Japan

### ■ Mellet, Xavier

Tutorial 1-2, Graduation Paper,  
Political Sociology,  
Citizenship First Seminar,  
Principles of Sociology

### ■ Abu-Dari, Mazen Musa Moh'd

Tutorial 1-2, Graduation Paper,  
Career and University Education in the Global World,  
Business First Seminar,  
Introduction to Marketing,  
Introduction to Finance,  
Marketing Research

■ Choi, Hee Young ■ Gorshkov, Victor ■ Gu, Junjian ■ Hallman, Francis Candler ■ Hoolahan, Mark Francis ■ Ishikawa, Rujirat ■ Kahy, Haby ■ Khangulyan, Dmitriy ■ Knight, Kevin Robert  
 ■ Lee, Minjoo ■ Marquez, Loren ■ Mignon, Edward Taylor ■ Mitani, Jyunko ■ Naito, Hiroyuki ■ Nazzicone, Maria Joelle Rimas ■ Niijima, Yoshie ■ Park, Chris Hyunkyoo ■ Reisel, Mary  
 ■ Sayers, Brian ■ Schwemmer, Patrick Reinhart ■ Omoto, Aya ■ Suzuki, Mikako ■ Takamatsu, Mari ■ Tanaka, Rumi ■ Terada, Yuki ■ Teranaka, Makoto

# Classes

## Tutorial

Tutorial 1&2, considered to form the core of GLAP courses, are offered in extremely small-sized classes consisting of a maximum of 5 students. The classes are held once a week during the Spring and Fall Semesters in the 1st year and aim to comprehensively improve basic academic skills such as critical reading, academic writing, presentation which are necessary for university-level learning. Students read two reading materials (topics are selected from areas such as Humanities and Social Sciences) per term. Before each session, students read the assigned materials and prepare for presentations and summary writings. In each session, following the students' presentations, instructors and students confirm their understandings and have discussions. When the class has reached the end of each reading material, students are required to write an essay with research questions. Tutorial 1&2 encourages students' all-round learning through preparation, review and active participation in classroom activities. Full support is provided by instructors, and stimulating interactions between instructors and students are offered. Students may experience hard times as they develop their skills, however, these classes are challenging and satisfying.



Small group vigorous discussions

## GL111(Global Leadership Program)

Global Leadership 111 (GL111) is a class in which GLAP students can develop their own individual and differing understandings of leadership through collaborative practice. The theme of the practice will be shared by real corporations and students can act to create new solutions to the issues in the real world. Students work in small groups to think of new solutions by critically thinking through the issues, setting the effective direction and strategy, and proposing new ideas on how to call actions in the real world. As students work on it, they are encouraged to be conscious of the three minimum leadership essentials sharing goals, setting examples, and enabling others and thus systematically cultivate facets of leadership that may not be outwardly apparent. On the way of its leadership challenges, all the team members have chances to reflect on the teamwork process, performance, and individual leadership one after another. The learning and finding about themselves will let them notice one's own potential to grow further, and it will be of great use in living a fulfilling life with developed leadership even after the university graduation. To achieve this goal, faculty members, student assistants (SAs), and administrative staff in Global Education Center will work as one team to accompany you and support your leadership development through GL111 and the Global Leadership Program (GLP) that follows.



Group Mid-presentation (Poster Session)



## Easy access to Academic Advisors!

GLAP offers small-class education and the academic advisors provide individualized and meticulous support for students, including counselling on studies and interim interviews. Students can take educational counseling and discuss any problems they have which include course consultation for study abroad, speak with academic advisors daily in a relaxed environment. Even while studying overseas, students are able to remain in constant communication with their academic advisors through monthly reports. GLAP's academic advisors are teachers who are easily accessible and students can talk freely about anything in university life. After students select their area of specialization, they can also consult sub-academic advisors in each area on specialized learning.



### A comment from a GLAP student

An academic advisor is someone whom I can easily reach out to and rely on. In GLAP, we can consult with academic advisors whenever we have any worries or concerns about our studies, such as what classes to take, how many credits to earn, or which colleges to choose for studying abroad. Since the academic advisors also teach GLAP classes, they know us well and can give us advice based on what they know about us in the classes.- For example, while I was unsure of what classes to take, my academic advisor gave me advice on selecting and planning courses in view of what I wanted to pursue in the future and the fields and subjects I am interested in. The advice from the advisor helped me to learn a lot from the classes I decided to choose, leading a fulfilling student life. The GLAP students will receive close attention and support that suit the needs of each of them, especially from academic advisors. This is one of the best advantages of GLAP, which you never expect at a university!

Ota Chiharu (Enrolled in 2022)

\*as of the time of this interview



Develop specialized expertise

# Global Studies

Students will select one of the three fields of Global Studies (Humanities, Citizenship, Business) based on the interests will have developed through previous studies and study abroad, and deepen their specialized knowledge and conceptual understanding of the field.

After choosing a specialization in their third year, students take "First Seminar," which is offered in each field of study as an important subject to deepen their understanding of Global Studies.

Students will learn what specialization is and the perspectives, theories, and approaches that are essential to conducting research in their field of specialization.

In the fourth year, students will decide their own theme, write a Graduation Paper over the course of a year, and present it.

This will be the culmination of an organic synthesis of expertise and thoughts in the selected field, as well as knowledge and multifaceted perspectives from a variety of fields that have been acquired over the years.

## Citizenship

The Citizenship field seeks to nurture students to be global citizens who are responsible, knowledgeable, and active in the global society. Students will acquire ability to think critically and constructively when facing issues and phenomena pertaining to globalization, multiculturalism, human rights, democracy, and sustainability of eco-system, and sustainability of the global society. Students will study a broad range of concepts and theories that have been developed in the relevant social science fields, such as sociology, law, political science, international relations, gender/minority studies, and area studies through a balance of expertise in the social sciences and civic literacy. By exploring multiple disciplines and approaches in the Citizenship field, they will be exposed to various local and global issues. While learning in this Citizenship field, students set their own research themes and topics which they like to put in effort to tackle, and conduct research to make academic achievements. Currently, students who seek employment in international organizations, NGOs, journalism and media industry, or aim to proceed to graduate schools are studying together. The Citizenship field welcomes students who are curious, inquisitive, and active. We hope that you can play an active role in society as a global citizen!

## Humanities

Humanities is one of the three majors offered in the Global Liberal Arts Program. Humanities disciplines celebrate the rich history of human experience, help to us negotiate an uncertain present, and enable us to imagine a better future. Studies in the Humanities focus on creative expression while embracing the exploration and analysis of those expressions. Traditionally, Humanities has encompassed disciplines as diverse as literature, history, language and communication studies, the fine arts and performing arts, music, and film studies as well as religion and philosophy. Coursework in the Humanities in the Global Liberal Arts Program requires students to look at literature, art, philosophy, and religion from a comparative perspective and encourages students to make connections among cultures and across history.

In many important ways the Humanities, with its through going focus on human expression and critical analysis, represents the heart of the Liberal Arts experience. The Global Liberal Arts Program, which was founded on the principles of the liberal arts education, is the logical home for the study of the Humanities. Finally, the Humanities offers ideal disciplinary perspectives from which to explore the issues and concerns surrounding globalism. We welcome creative individuals who wish to explore creative expression and human thought from a global perspective!



## GLAP

## Business

Business field is one of the three fields students can choose from under the GLAP. Those liberal arts students specializing in the business field can be the new type of future business leaders. This is because they will have knowledge of not only business, but also of the physiological, historical, political, and multicultural backgrounds, which will help them make better judgment when making business-related decisions. By this, they can assist in getting their future company on the success path more efficiently. Therefore, GLAP offers a study of business from a broader framework.

GLAP has many advantages that distinguish the students majoring in business, and assist them in taking the lead when it comes to doing business internationally and even domestically, since this approach trains the students to think critically and look at the issues under discussion from various viewpoints.

GLAP at Rikkyo offers the students the chance to build their broader knowledge, based on international study experience, and then to specialize in a professional field, business or any of the other two fields. All of this will assist the students to be more successful and be able to contribute more to the future of themselves, their companies, and their nations.



Aim high in the future

## Campus Life of Students

### A Clear Goal for the Future from a Broad-based and Intense Learning Environment

Tokyo / Junten Senior High School  
Yu Nunotani (Enrolled in 2019)

#### Small classes fit my shy personality

Although I grew up with exposure to English from an early age, including trips and short-term study abroad, when I chose a path in high school I didn't know what I wanted to major in. I knew vaguely that I wanted to develop basic thinking skills through broad-based learning, then specialize in a particular area in order to hone my ability to survive in an increasingly complex world. In this respect, the GLAP curriculum was very appealing since students first do big-picture learning and then move on to deepen their expertise. Another major selling point for me was the small class size (20 students per year), which I thought would suit my shy personality. Once I was in the program, I found the atmosphere to be calm and one of equals. The professors are very good at following up on any kind of opinions while group work deepens the relationship between classmates, so the program makes me feel psychologically at ease and relaxed in my studies.

#### The class that changed my life

Each GLAP class has left an impression on me, but the International Business class in the spring of my second year changed my life. There, I learned about the social business model, which seeks to simultaneously solve social issues and expand profits. In this course, I found a clear goal and decided to major in business. As part of the class, we had to work as a team to propose a new business model, so we had many discussions outside of class. In the weeks leading up to the presentation, team meetings would take place over several days, and sometimes a meeting could last six hours or more. I think that GLAP approach makes this kind of concentrated learning possible. Things are usually low-key, but when it comes to classes, each and every one of us does not compromise and strives to give the best presentation possible, inspiring each of us to do our best. GLAP has such a good atmosphere.



Discussion in class  
(Left / 1st year)

#### A true global experience studying abroad in Hong Kong

For my third year, I studied abroad at Lignan University in Hong Kong, which is Asia's most important business hub. During my time there, I felt that being "global" was more common in Hong Kong. The outlook there encompasses not only developed countries in the West and neighboring countries but also the all continents of the world and the open atmosphere comes from having English as one of their official languages. Although both Hong Kong and Japan are part of East Asia, the atmosphere of each is completely different. In Hong Kong, I think I experienced what being "global" is in the true sense of the word, and the time I spent there was the most intense experience of my life. I plan to attend graduate school after GLAP, where I want to delve into the relationship between social business, Gen Z and the media in terms of content marketed at Gen Z. I am confident that the multifaceted viewpoints I developed through GLAP will be very useful when I enter the workforce.



#### First-Year Schedule (Fall Semester)

7:50 a.m. / Commute

I do a final review of the day's presentation and image training on my way to school.

8:50 a.m. / First period (Tutorial 2)

GLAP is known for its many tutorials. Seminars have a maximum class size of five and there are two assigned books for the term. I was able to refine basics such as reading comprehension, writing skills for communicating clearly and presentation skills.

10:30 a.m. / Self-study

The best way to complete GLAP assignments is in your free time. I go to the library when I need to concentrate, to the lounge when I want to sound out the opinions of my peers and to a café for a coffee when I'm sleepy. Changing my location as needed helps me work hard on my assignments.

1:00 p.m. / Lunch

Sometimes I eat in the cafeteria, other times I'll go to one of the shops around Ikebukuro Station. One of the joys of going the campus location is that I have so many options to choose from, depending on my mood.

2:00 p.m. / Self-study

After a refreshing lunch break, I return to working on my assignments. For group work, we often hold our meetings in the campus's Global Lounge, which is where many of the international students also go. The lounge is like a gathering place for GLAP students.

3:20 p.m. / Fourth period (Culture and Fine Arts)

We learn about the concept of art but also create our own gallery through the course, for which we end up giving a practical presentation about the appeal of our selected works.

5:00 p.m. / Part-time job

My main job is working as a cram school instructor. Although GLAP students are very busy with assignments, there is enough time to spare for part-time jobs and club activities.

10:00 p.m. / Return home

I use my return commute for class readings. When a deadline is near, I will also continue to work on the assignment at home. Before going to bed, I check my schedule for the week and my To Do list.

\*as of the time of this interview

# Cultivating Your Self-Confidence and Independence through Meeting Friends Who Will Work Hard with You

Shizuoka / Katoh Gakuen Gyoshu Senior High School  
Junya Eriguchi (Enrolled in 2019)

## An environment and curriculum that brings the world closer

I earned an International Baccalaureate because I wanted to become an international lawyer or diplomat. During that schooling, I came to realize the importance of understanding and analyzing from multiple perspectives and developing my own values and worldview. I chose GLAP because of its liberal arts focus, as I felt I would be able to deepen what I learned in high school. I also considered going to university overseas, but I couldn't gather the courage since I had never studied abroad or lived on my own at that point. So GLAP, which is an environment in Japan where I feel like I am overseas and which has a mandatory study abroad component, was appealing to me.

## Classes connected the dots and overseas study that increased my independence

I have heard people around me say that lectures and classes at university are somewhat unsatisfactory, but it's the opposite in GLAP. The lectures and assignments are tough, but I am constantly surprised by things, even in classes on topics that don't really interest me at first. As my perspective has broadened I can see common problems among seemingly different matters, and there are many moments where the dots connect. This experience has helped me reaffirm the strengths of a liberal arts education for cross-disciplinary learning. The high degree of freedom to change your interests as you learn is also a very appealing part of the program.

Studying abroad in the US was also a good opportunity for me to reflect on myself and build my courage and independence. Outside of class, I actively participated in parties and events held at the international dormitory and went on a trip to Hawaii with fellow international students. The experience of building relationships with people who have completely different values while using only English helped me gain confidence that I can be positive and enjoy myself no matter what kind of community I'm in.

## A small-group education allows you to make mistakes

The most impressive thing about my four years in GLAP has been my classmates. There are only 20 students in each year, so you naturally get to know their personalities. At the same time, we are a group with a wide range of values, so when there is a clash of opinions, there is no trouble afterwards, nor do you need to pretend to be nice. It's a valuable relationship where we can clearly express our thoughts or come to realize our own mistakes. It was also stimulating to witness the growth of my classmates—including one person whose English was not very good at first but who ended up winning a business contest after studying abroad.

The strength of GLAP is that it offers an environment in which students can make mistakes. In large groups, it's easy to think that somebody else will take care of a matter, but GLAP's small group size makes you want to raise your own hand. Even when you fail you are not invalidated, and the professors provide a lot of support. GLAP is place where everyone is given the chance to shine, not just a few of the most talented.



## Class Schedule (Fall Semester 1st year)

※University Wide Liberal Arts Course

	1st	2nd	3rd	4th	5th
Mon		English Discussion2※	Health and Wellness		
Tue	Advanced English 2※	Culture and Language in Africa※		Basic Chinese 2※	GL111
Wed	Tutorial 2	Sports Program (Badminton)※		Culture and Fine Arts	
Thu		Advanced English 2※	Culture and Fine Arts		
Fri			Basic Chinese 2※	Biblical Anthropology※	

Summer Intensive Programs (Early August) University in Modern Society

### GL111

The aim of this class is to develop each student's leadership. Small teams of 5-6 students work jointly with client companies and organizations on development projects. Students begin by first learning leadership theory and do a self-analysis. The various team members then collaborate on creating a new proposal and make a final presentation.

I was somewhat skeptical at first about the meaning of fostering leadership. However, it turned out to be a great experience as the content was not about the standard definition of being a person who stands at the top and leads, but about the concept of each person in a team exercising leadership in accordance with his/her personality by discovering their own unique leadership style and strengths. I am also happy to have been selected for the client award in the final competition.



Poster Session in GL111

### University in Modern Society

Using *Not for Profit: Why Democracy Needs the Humanities* as a textbook, students learned about how university education has played a role in global politics and its transformation. The professor came to Japan from the University of Lethbridge, one of the program's partner universities in Canada, to teach the class. Although it is an intensive summer course that lasts only a few days, we read the text each day and provided over 1,000 words of feedback, which we used as the basis for 5-6 hours of discussion with class members and the professor. Since there was only a total of three students in the course, it was a very condensed learning experience.

Learning about the historical and ideological background behind the creation of universities and the education they provide as well as their philosophical meaning was also a valuable opportunity for me to rethink the significance of my GLAP studies. I had never taken a philosophy class before, so it had a great impact on me.

※ as of the time of this interview

# Global Liberal Arts Program (GLAP) Partner Institutions

For one year from the fall semester of the second year to the spring semester of the third year, all GLAP students undertake study abroad at a liberal arts college outside Japan, encountering other cultures and cultivating the skills required to play an active role beyond borders. Students consult with their Academic Advisors to explore study abroad destinations, decide on a host institution, and plan what courses to complete.



## **D** Trinity College

This prestigious private, liberal arts college is located in Connecticut, on the East Coast of the United States. In addition to being able to study fields with diverse content, Trinity offers interdisciplinary programs that extend across multiple fields, and it is highly regarded for the substantive education it offers.



## **A** St. Thomas University

St. Thomas is a public liberal arts school in the province of New Brunswick, on the eastern coast of Canada. With an emphasis on small-sized undergraduate instruction, the university offers high-quality education and classes in which each student learns to analyze things from a critical perspective.



## **N** Northern Arizona University / Study Abroad Report

Mareyu Suekane (Enrolled in 2019) from August in 2021 to May in 2022



Dining with international students

I studied Sociology, Ethnic Studies, Communication Studies and English Literature at Northern Arizona University. Each class was full of new discoveries for me, and I was able to deepen my thoughts and find connections between the contents of each class, and "having a multifaceted perspective" was clearly systematized in me. The most enlightening aspect was the idea of double-consciousness, defined by the American sociologist Du Bois about a hundred years ago. This refers to the fact that during the time when black people were enslaved, black people judged their values based on how white people viewed them. The word "slavery" evokes images of inhumane and brutal acts committed by those in power, but the focus of this idea is not on such acts, but on the oppressed black people and how they perceived themselves, and this gave me a new perspective I had never had before. If we apply this double-consciousness, or "seeing ourselves through the eyes of others," to today's society where SNS have become widely spread, I am sure that everyone, including myself, has experienced this at least once. I believe one of the reasons I was able to find the links between each class, as I mentioned earlier, was that I was conscious of the fact that what I learned in class did not end there and then, but deepened as I related them to various things. In addition, living on the campus during my study abroad period gave me more time than I had expected to allocate my time to assignments, think about classes, and interact with people, and the university community made up almost all my personal time. This was a valuable time for me, as I think being able to fully concentrate on my studies without being interrupted by anything is something I don't get to experience very often in Japan. Dear all high school students, it is very impressive to take action to realize who you want to be, whether it is studying abroad or taking an entrance exam, and it will give you confidence. However, in the process, there will be times when things do not go as you wish or when you find yourself comparing yourself with others. At those times, you need to respect the values that you have for yourself. It is okay to pause or waver along the way. But in the end, you should always look forward and start walking at your own pace. I believe that many good things are waiting for you.

\*as of the time of this interview

## America

- A** University of Vermont
- B** Nazareth College
- C** State University of New York at Geneseo
- D** Trinity College
- E** Rider University
- F** Moravian University
- G** Randolph-Macon College
- H** Presbyterian College
- I** Emory & Henry College
- J** Augustana College
- K** Millikin University
- L** University of Dallas
- M** Trinity University
- N** Northern Arizona University
- O** University of California at Santa Cruz

※ For one year from the fall semester of the second year: study at GLAP partner institutions at the time of application.

### **B** Leiden University College

In 2009, Netherlands' Leiden University, with which Rikkyo University has an exchange partnership agreement, established an honors college where classes are offered in English. The College offers high-quality education using small-scale teaching methods to its students, with the goal of training young people who can tackle problems on a global scale.



## Canada

- A** St. Thomas University
- B** University of Lethbridge

## Norway

- A** Volda University College

## Netherlands

- B** Leiden University College
- C** University College Utrecht

## Greece

- D** American College of Greece

## Italy

- E** John Cabot University

## Czech

- F** Anglo-American University

## China

- A** Lingnan University (Hong Kong)

\*Exchange partner institutions as of April 2023. Partner institutions are subject to change.

[GLAP website]



NEW

### Inter-University Exchange Project "ACE Program"

(program chosen by MEXT in 2021)

Beginning in AY2022, Seoul National University, Peking University, National University of Singapore, and Rikkyo University are forming the Asian Consortium for Excellence in Liberal Arts and Interdisciplinary Education (ACE), an international consortium of universities with a joint theme of "liberal arts education". The goal of the ACE Program is to take liberal arts education as the foundation for cultivating human talent that is capable of thinking seriously about, and taking action to address, the various issues facing Asia and the global community as a whole in today's world.

[Details for ACE Program]



### ACE Program (Asako Kakahara Enrolled in 2019)

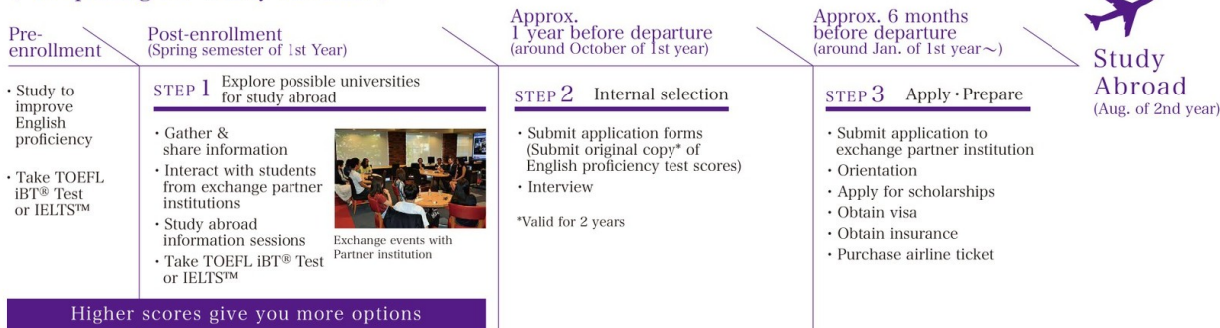
Studied at Seoul National University and National University of Singapore



Birthday party at SNU (right)

As a member of inaugural class of the ACE program, I went to Seoul National University (SNU) for the first semester starting September 2022 and am currently studying at the National University of Singapore (NUS) for the second semester starting January 2023. Although both universities are both in the Asian region, there are two differences between them. The first is language: at SNU, there are only a limited number of courses offered in English, and I had more opportunities to interact with international students in class than with local students. On the other hand, at NUS in Singapore, where English is their official language, a high percentage of students are local students, and their English, called "Singlish", has distinctive local accent which requires more concentration than usual to get used to. Among other Asian countries, I find Singapore to be an exciting environment that challenges my English language skills. The second is class style: at SNU, lectures, presentations, group discussions, etc. are included in class time, but at NUS, there is a separate tutorial session for each subject in addition to the lecture session. Even though there are enough students to fill a large auditorium for a lecture session, students are divided into classes of up to 20 for tutorial session and work on discussions and group projects with their assigned members. This tutorial session is similar to GLAP's interactive approaches. Also, in each class at NUS, in addition to the professor's lecture, the professor or Teaching Assistant (TA) will summarize the content of each class through facilitation, which allows students to learn more deeply about the subject. Finally, I also felt differences depending on which country I was visiting. In Singapore, a multinational country, interaction with foreigners is so common that I was rarely treated differently as an "international student," while in Seoul, where many people around me were non-native English speakers, I experienced a typical life as an "international student" by being exposed to the local culture and sharing it with each other.

## < Preparing for Study Abroad >



Higher scores give you more options

Students must achieve the TOEFL iBT® Test or IELTS™ score set by the respective exchange partner institution by the time of the internal selection. The selection places priority on the student's academic achievements and attitude toward learning. If the external English language test scores and GPA (Grade Point Average) do not meet the standards set by the partner institution or GLAP, there may be cases where the student is unable to participate in the study abroad program.

※ We implement study abroad program in consideration of social conditions and infection status.

Gaining global awareness through intercultural exchange

# Rikkyo Global House

## Purpose

- To learn through the experience of living with international students and others.
- To clarify students' objectives for study abroad.

All GLAP students are eligible to live together with international students at Rikkyo Global House if they choose\*. Dormitory life fosters a spirit of self-reliance and a global perspective.



### [Shared Facilities]

- Dining hall (event/meeting space)
- Study space ■ Kitchens
- Lavatory / shower rooms (separated by gender)

※An elevator is not installed inside the building.

- Laundry rooms with washing machines and dryers (coin-operated)

### [Rikkyo Global House Profile]

- Address: 2-25-9 Tohoku, Niiza-shi, Saitama 352-0001, Japan
- Access: 3-minute walk on from Shiki Station on the Tobu Tojo Line; 30 minutes from Rikkyo University's Ikebukuro campus
- Floor numbers: 6 floors (1st floor: common space, 2nd to 6th floors: residential floors)
- Floor allocation: Men's floors (2nd and 6th floors), Women's floors (4th and 5th floors) and co-ed floor (3rd floor)
- Capacity: Approximately 80 people

### Social event with international students at student housing

- Introducing the cuisine from different countries
- Making new year's cards with calligraphy
- Cruising tour in Toyosu and Nihonbashi
- Cookie baking workshop
- Hiking
- ※Residents can plan and suggest events.



※Entering the dormitory after returning to Japan, dormitory-entering selection is set since the resident is expected to play a role as Student Assistant.

## Costs for services

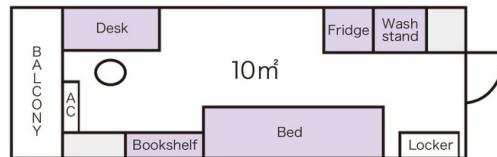
- Rent: 54,000 yen per month (For applicants who will stay in the dormitory)
- Cleaning fee: 25,000 yen (charged only at the time of move-in)

※Above information is tentative.

The monthly rent includes utilities costs and internet charges.

Meals are not provided, however residents can cook for themselves in the shared kitchens. Optional bedclothes leasing can be included by paying an additional service fee (7,020 yen per month, 26,460 yen per year).

## Residential Room



※Rooms are not equipped with a lavatory, bathroom, and laundry machine (students need to use shared facilities).

## Consider a career path with a wide range of options Career

In addition to support for career planning and job searching provided by the Career Center, students learn about the field of international organizations and global companies, and think about career development in Japan and overseas through the unique career courses of GLAP.

Employment	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Rakuten Group, Inc.</li> <li>● Yamaha Corporation</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Dyson Limited</li> <li>and other marketing and consulting firms etc.</li> </ul>	Further Education	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Stanford University</li> <li>● The University of Tokyo Graduate School of Public Policy</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Osaka School of International Public Policy</li> <li>● Waseda University</li> </ul>
------------	---	--	-------------------	---	--

### Admitted to Stanford University, Columbia University and other Universities Sana Sugita (Graduated in 2023)



My experience in GLAP's liberal arts education has taught me how multiple areas of study — ranging from art history, political sociology, to international business — are indeed connected in some way. Throughout my four years in the program, I have learned to critically analyze, construct, and convey an argument. The Tutorial class which is a small-sized class composed of 4 to 5 students per class, was a great opportunity for me to hone my skills in debating and presenting on crucial topics such as multiculturalism and Japan's international profile. I found my intellectual passion in culture and soft power through two classes offered in GLAP, Culture and Fine Arts and Japan in Asian Context. By learning approaches to cultural exchange and diplomacy, I saw how arts are politically relevant and have the power to impact relations with foreign nations. Studying Japan's cultural policies from a theoretical perspective spurred my interest in its practice. For this reason, I interned at the Agency for Cultural Affairs and the International House of Japan, both opportunities I have attained through Rikkyo University. Combining my academic and practical knowledge from class and internship, I wrote my thesis on the evolution of programs that send Japanese artists abroad via government grants as cultural emissaries. As I pursue postgraduate studies, I hope to deepen my understanding of the media, economics, and history of cultural diplomacy from an interdisciplinary perspective. I hope to one day become a leader in soft diplomacy.

### Marketing Technology Company Yoshie Nakajima (Graduated in 2023)



My job-hunting lasted from May 2021 (junior year) to September 2022 (senior year), a little longer than most students because it was overlapped with study abroad period. My vision for the future and axis of job-hunting activities changed little by little as I moved to study abroad in Greece. At first, I wanted to work in a diverse and international environment just like what GLAP has, so I actively participated in summer internships with a goal of working at a foreign-affiliated company. However, after going through many internships and studying abroad, I started to ask myself what I really want to do and what kind of people I want to be around with. The answer was "an environment that accepts me as I am and watches over my growth." GLAP values the opinions of everyone. Classes are focused on presentations and group discussions in small groups. Through studying in GLAP, I realized the importance of expressing my own opinion while accepting and respecting the opinions of others. There were times when we had conflicting opinions, but because there is a small group of people, we were able to deeply understand each other's personalities and thoughts through communication and spend every day together, and eventually, we were able to solve problems. The most important thing I learned at GLAP is "two-way communication is the key to growth". When I participated in the internship competition of my prospective company, I was able to utilize the discussion skills cultivated at GLAP and led my team from the last place to second place in the end. The interviewer recognized my ability to bring out the strengths of others, and I was able to receive a job offer. In GLAP, you grow while getting stimulations from students who continue to challenge themselves in different fields with various experiences and backgrounds. Regardless of grade, GLAP students respect and support each other to spend their four years together. The bond among us can be built only because there is a small number of people. I value such connection and want to continuously grow together as a member of society.

# Admission into the Global Liberal Arts Program (GLAP)

## Application Schedule (For Enrollment in April 2024)

Entrance Exam for International Courses (GLAP)	
Number of students to be admitted: up to 12	
On-line Application period	The middle of September in 2023
Announcement of first-round screening results (document screening)	Late October
Second-round screening (written exam and interview)	The middle of November
Announcement of final results	Early December*
First round of enrollment procedures period	Early December
Second round of enrollment procedures period	From late January to early February in 2024



\* A second announcement of successful applicants may be made depending on the status of enrollment procedures. For details, please refer to the entrance examination guidelines, which is to be released on Rikkyo University's website.

## Admission Requirements

Applicants must satisfy all of qualifications listed in 1 to 3 below.

1. Applicants must fall under one of the subitems (a) to (c) below:

- Graduated, or expecting to graduate by March 2024, from a senior high school (including the upper curriculum of a secondary education school; same applies below);
- Completed, or expecting to complete by March 2024, twelve years of school education under a regular curriculum; or
- Recognized, or expecting to be eligible for recognition by March 31, 2024, as having academic ability equal to or above that of a senior high school graduate, pursuant to Article 150 of the Ordinance for Enforcement of the School Education Act.

2. Applicants must have strong motivation to study in the Global Liberal Arts Program.

3. Applicants must fall under one of the subitems (a) to (g) below:

For details on available English qualifications / proficiency examinations, please be sure to refer to the entrance examination guidelines on Rikkyo University's website before applying.

- Obtained Cambridge English Qualifications score of 160 or above
- Obtained EIKEN Test score of 2,600 or above
- Obtained GTEC score of 1,180 or above
- Obtained IELTS (Academic Module) Overall Band Score of 5.5 or above
- Obtained TEAP score of 309 or above
- Obtained TEAP CBT score of 600 or above
- Obtained TOEFL iBT score of 72 or above

\*For all of the above, "scores achieved in exams taken from within two years of the first day of the Application period" will be eligible.

Further information on Application Qualification 1 (c) of the Global Liberal Arts Program:

- Those who completed, or expect to complete by March 31, 2024, a twelve-year school education curriculum outside Japan. Or, those who are designated as equivalent to these by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- Those who completed, or expect to complete by March 31, 2024, a curriculum at an overseas educational institution authorized by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as equivalent to the curriculum of a senior high school in Japan.
- Persons who completed on or after a date specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or expect to complete by March 31, 2024, an advanced curriculum at a vocational school designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (limited to curricula of three or more years in duration and satisfying other conditions specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology).
- Those who are designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- Those who passed, or expect to pass by March 31, 2024, the Upper Secondary School Equivalency Examination pursuant to the Regulations on Upper Secondary School Equivalency Examinations (including the former University Entrance Qualification Examination).
- Those who entered a university pursuant to the provisions of paragraph 2 of Article 90 of the School Education Act, and judged by Rikkyo University to have the appropriate academic ability to undertake education at university level.
- Those who are recognized by Rikkyo University, or expect to be recognized by March 31, 2024, as having academic ability equivalent to a senior high school graduate, and attaining the age of 18 years by March 31, 2024.

\*Those who graduated from a school other than "High school based on the Japanese school education system" must take "Eligibility check" before applying.

## Selection Procedure

First round: Paper screening based on application documents

Second round: Short essay in English and interview examination

Application documents: Application form, Statement of purpose, Academic report\*, certificates

\*Senior high school graduates should submit a sealed transcript certified by their school principal. Applicants who have passed the Upper Secondary School Equivalency Examinations (or the former University Entrance Qualification Examination) should submit a certificate of passing grade or certificate of prospective passing grade.

The eligible applicants can submit their application through the admission by designated school recommendation. Applications for the admission to the GLAP cannot be submitted through the general entrance examination or National Center Test for University Admissions.

## Academic Fees and Other Related Expenses

- Tuition: 1,850,000 yen annually
- Admission fee: 200,000 yen (charged only in the first year of enrollment)
- Dormitory rent: 54,000 yen per month (For applicants who will stay in the dormitory)
- Study abroad costs: No tuition fees to be charged by host institutions

※Above information is tentative. Housing and living expenses as well as travel expense must be fully covered by students.

(about 1,500,000 yen-3,000,000 yen: The cost of studying abroad is subject to change due to the circumstances of our partner institutions or exchange rate fluctuations.)

## Rikkyo University GLAP Scholarship (awarded prior to enrollment)

The scholarship, awarded prior to enrollment, is provided in the form of a grant to provide financial support purposes.

Only students applying for admission in the Entrance Exam for International Courses (GLAP) are eligible to apply.

The scholarship is designed to be awarded to applicants who may be experiencing significant financial hardship.

The selection of the recipients is based on a review of each applicant's household income status.

The scholarship application must be submitted at the time of application of the Entrance Exam for International Courses (GLAP).

- Annual scholarship amount: 1.2 million yen per year
- Duration of payment: 4 years in principle (The annual review is conducted to determine the continuation of payment.)
- Number of recipients: Very limited

## PEACE Program (For Enrollment in April or September)

This is for international students.

Program  
Overview



立教大学  
RIKKYO UNIVERSITY

3-34-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-8501

■ Admissions Office  
(for inquiries regarding admissions)  
: 03-3985-2660  
■ Office for the Global Liberal Arts Program  
: 03-3985-4612

<Rikkyo University website>



<GLAP website>



TOP GLOBAL  
UNIVERSITY  
JAPAN

※ We make every effort to prevent the spread of infectious diseases and take all possible precautions when conducting interviews and production.



Nurturing a new generation of  
global leaders through liberal arts

# GLAP

Global Liberal Arts Program

グローバル・リベラルアーツ・プログラム

2024



立教大学  
RIKKYO UNIVERSITY